

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。

この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件を一緒に付す必要があります。
3. お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

※この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

家庭用

屋内専用

pdf版

防水ワイヤレスモニター

VW-J708

本体 取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。
業務用などにご使用にならないでください。



SDロゴは商標です。

本機を使用できるのは日本国内のみで、
国外では使用できません。

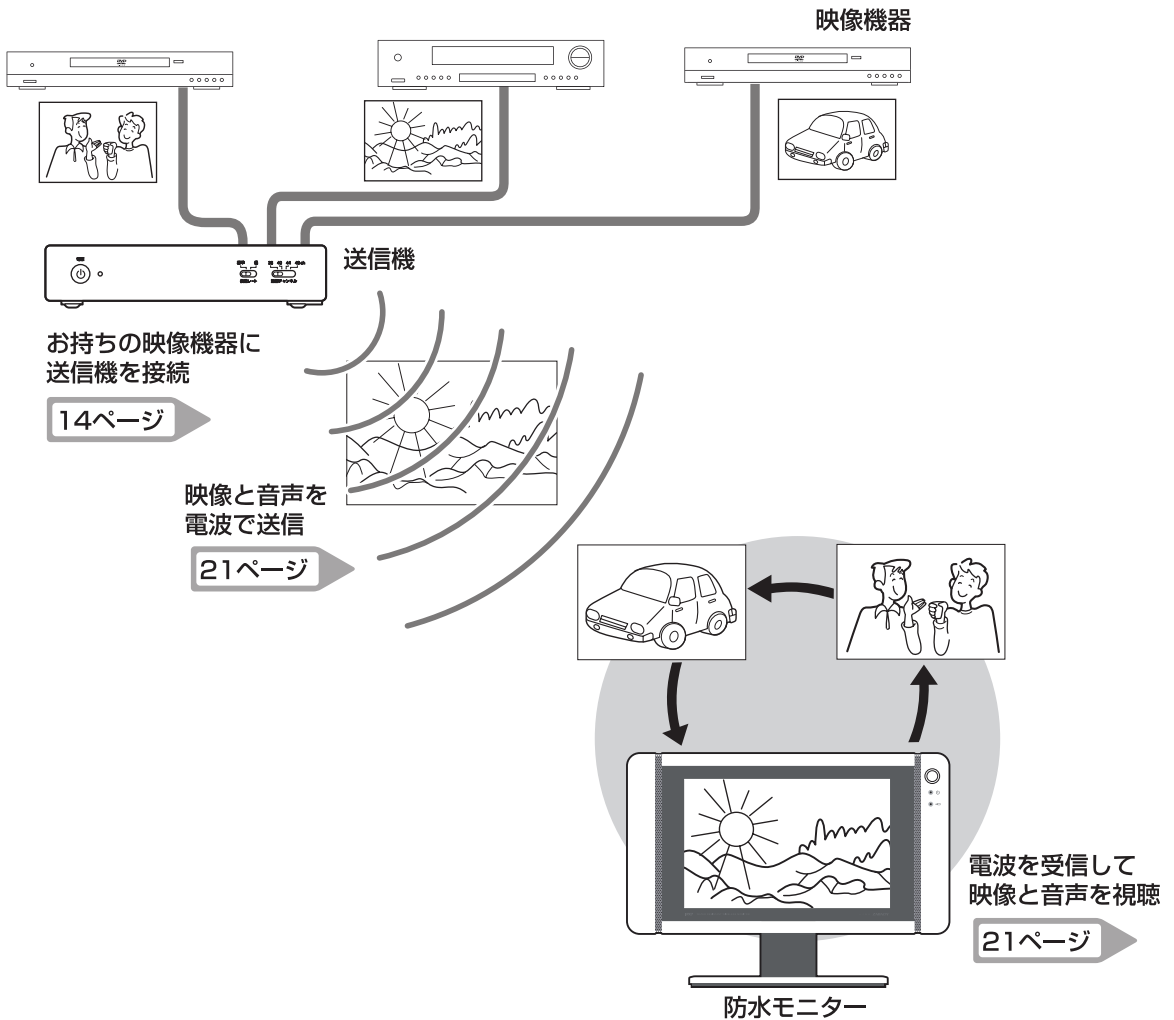
This unit is designed for use in
Japan only and can not be used
in any other country

本機の特長（本機でできること）

お知らせ

送信機には、チューナーやプレーヤーの機能はありません。
お持ちのDVDプレーヤー、HDDレコーダー、ビデオデッキ、デジタルチューナー、ケーブルテレビセットトップボックスなどと接続して使用してください。
なお、本書ではこれらの機器を「映像機器」と記載します。

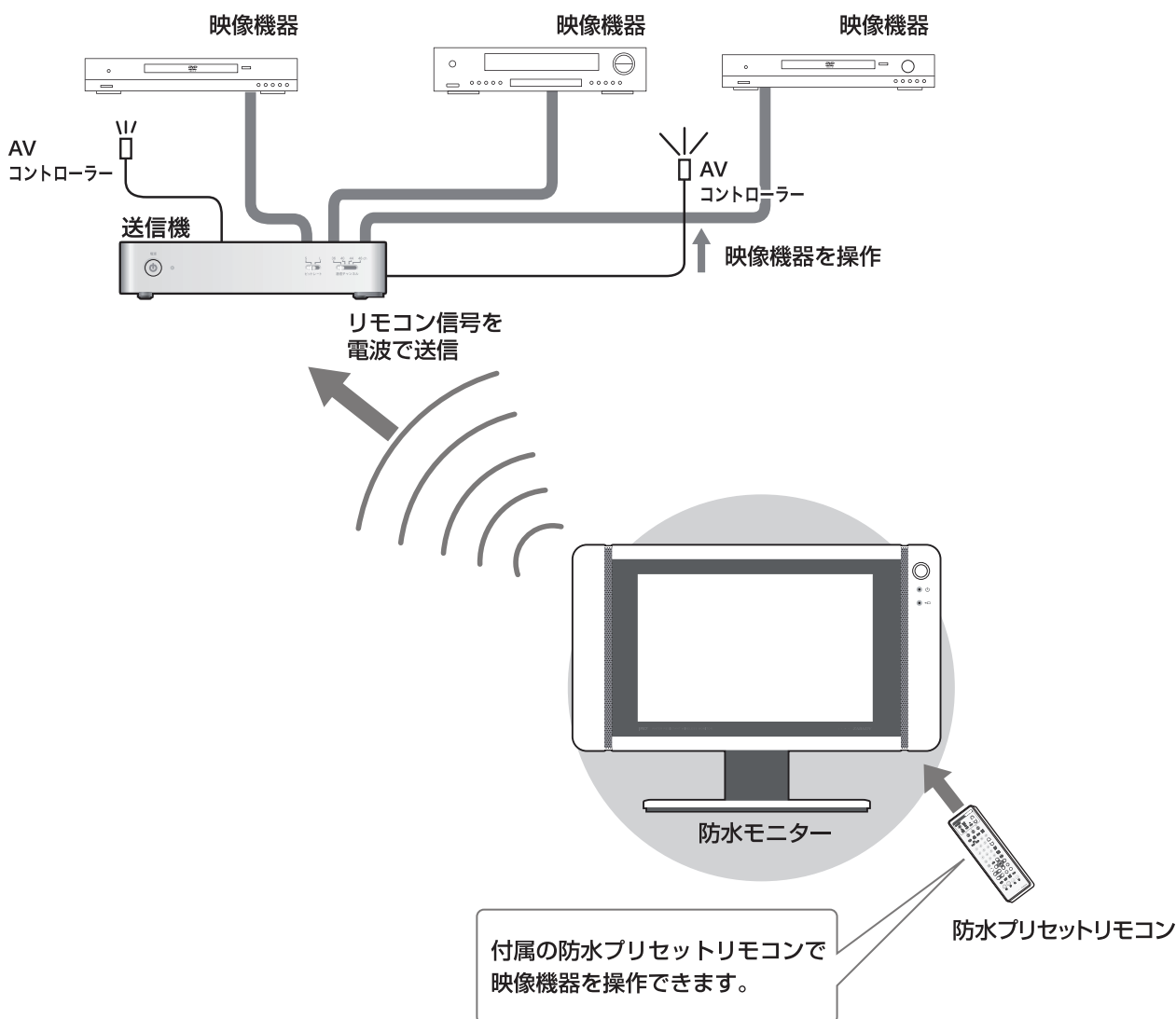
モニターを持ち運んで好きな場所で映像を視聴



- 送信機と防水モニターの通信可能距離は、ご使用の環境などにより変わります。送信機と防水モニターの設置場所によっては通信状態が悪くなることがあります。
- 送信機には、最大で3台の映像機器を同時に接続することができます。
- 映像機器との接続のしかたについては、14～18ページをご覧ください。

映像機器から離れた場所でリモコン操作

付属のAVコントローラーを使うと、映像機器から離れていても、防水モニターに向けてリモコン操作するだけで映像機器の操作ができます。

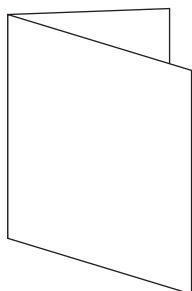


! AVコントローラーを取り付けないと、防水モニターに向けてリモコン操作しても映像機器は反応しません。

- AVコントローラーの接続のしかたについては19ページをご覧ください。
- 付属の防水プリセットリモコンには、主要な映像機器のリモコン信号があらかじめ内蔵されているので、簡単な操作で映像機器のリモコンの代わりに使用することができます。
リモコン信号が内蔵されていない場合、あらたに信号を学習させることで映像機器のリモコンの代わりに使用することができます。
詳しくは、「防水プリセットリモコン取扱説明書」(別冊)をご覧ください。

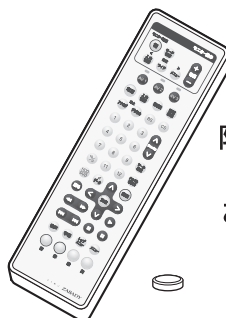
付属品の確認

本製品を初めてお使いになる前に、必ずご確認ください。
足りないものがある場合、販売店にご連絡ください。



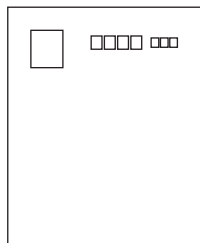
冊子…3

本体取扱説明書 保証書付(本書)
防水プリセットリモコン取扱説明書
かんたんガイド

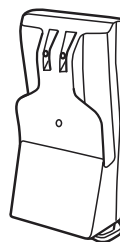


防水プリセットリモコン
…1

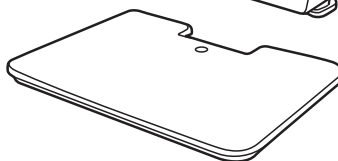
お試し用リチウム電池
(CR2032) …1



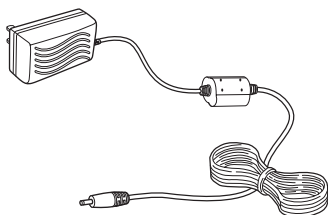
申し込みハガキ…1



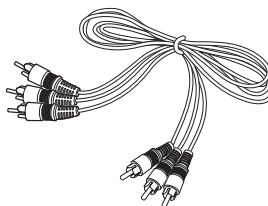
充電台 (ポスト)
…1



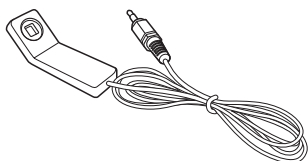
充電台 (ベース)
…1



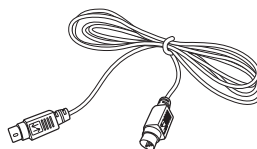
ACアダプター…2



AVケーブル…2



AVコントローラー…2
(両面テープ 2枚付)



S映像ケーブル…2

● もくじ




安全上のご注意	● 内蔵の専用バッテリーパック、コイン形リチウム電池について・・・1
	● 防水モニターについて……………3
	● 送信機について……………5
	● 充電台について……………6
	● 電源について……………7
	● 電波について……………8
使用上のお願い	● 映像について……………9
	● 結露について……………9
	● 防水について……………9
各 部 の 名 称	● 防水モニター……………10
	● 送信機……………10
	● 充電台……………11
機 器 の 準 備	● 送信機の電源……………12
	● 防水モニターの電源……………12
	● 映像機器との接続……………14
	● AVコントローラーの接続……………19
	● 防水プリセットリモコンの準備……………20
使いかた ワイヤレスモード	● 基本的な操作……………21
	● 「電波を受信できません。」と表示される場合……………23
	● 「適切な映像信号が入力されません。」と表示される場合……………25
	● 各種設定のしかた……………27
使いかた SDモード	● 再生できるSDカード……………31
	● 写真を表示する……………32
	● 設定を変更する……………34
	防水モニターと外部の機器を接続する……………36
	バッテリーパックの交換とリサイクルについて……………38
	こんなときは……………40
	お手入れ……………44
	製品を廃棄するとき……………44
	アフターサービス……………44
	仕 様……………45

安全上のご注意

必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

 危険 「死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。	 警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 注意 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。
---	--	---

●図記号の説明

 は、してはいけない「禁止」の内容です。	 は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
---	--

内蔵の専用バッテリーパック、コイン形リチウム電池について

危険



火の中に投入したり加熱しないでください。

禁止

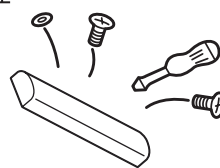


電解液が吹き出したりして破裂の原因になります。



バッテリーパック自体の分解や改造をしないでください。

分解禁止

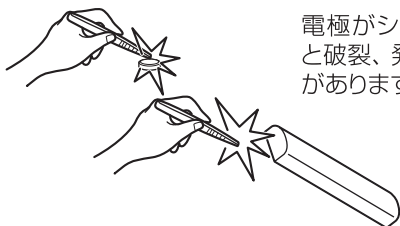


液漏れ、発熱、破裂の原因になります。



⊕⊖端子を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

禁止

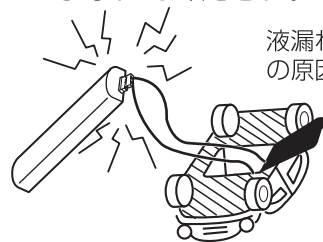


電極がショートすると破裂、発火の恐れがあります。



バッテリーパックは、指定の機器以外に接続したり使用したりしないでください。

禁止



液漏れ、発熱、破裂の原因になります。



バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。

禁止

破裂、火災の原因になります。



電池が液漏れしたときは素手で液をさわらないでください。

禁止



液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、必要なときは医師に相談してください。

警告



禁止

コイン形リチウム電池は、幼児の手の届くところに置かないでください。

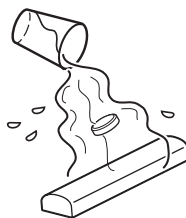


お子様が飲み込んだりすると、中毒の原因になります。もし飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



水ぬれ禁止

水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。



電池端子がさびたり発熱の原因になります。



強制

コイン形リチウム電池を破棄する際は、端子部にテープなどを巻きつけ、各市町村の指示（条例）にしたがって処理してください。

注意



強制

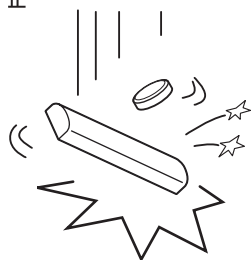
防水プリセットリモコンに使用しているコイン形リチウム電池は次のことを守ってください。

- 指定（CR2032）以外の電池は使用しないでください。
- 極性 \oplus \ominus に注意し、指示どおりに入れてください。
- 長期間（1ヶ月以上）使用しないときは、防水プリセットリモコンから電池を取り出して、電池の端子部にテープなどを巻きつけて保存してください。



禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

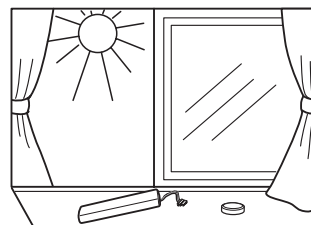


液漏れ、発熱の原因になります。



禁止

火のそばや直射日光にあたる場所など、高温の場所で使用、保管、放置をしないでください。



防水モニターについて

警告



分解禁止

絶対に分解・修理・改造は行わないでください。

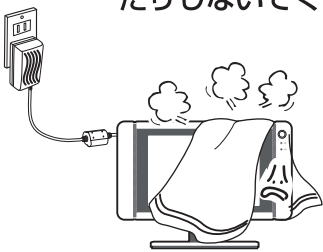
発火・感電・けがの原因になります。また本製品は、電波法の技術基準適合証明を受けた部品を内蔵していますので、分解すると法律で罰せられることがあります。修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。



禁止

使用中は、本体やACアダプターを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

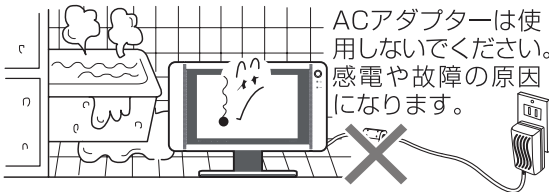
熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。風通しの良い状態でご使用ください。



強制

浴室等の水回りで使う場合は必ず内蔵のバッテリーパックで使用してください。

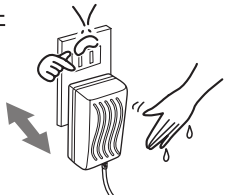
ACアダプターは使用しないでください。感電や故障の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



プラグを抜く

煙が出たり、変なおいや音が出る場合は、すぐに主電源スイッチを切り、ACアダプターを抜き、販売店か「お客様サービス係」にご相談ください。



異常のまま使用すると火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

内部に水が入った場合は、主電源スイッチを切り、ACアダプターを抜き、販売店か当社「お客様サービス係」にご相談ください。

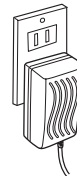


そのまま使用すると火災・感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



強制

付属の専用ACアダプターを使用してください。



付属以外のACアダプターを使用すると、火災や故障の原因になります。



禁止

防水モニターを病院内に設置しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。

注意



強制

専用ACアダプターは日本国内専用です。交流100Vでお使いください。



故障の原因になります。



注意

お子様がスタンドに手を入れないように注意してください。

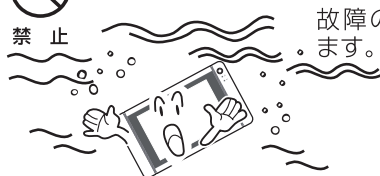


はさまれてけがをする恐れがあります。



禁止

故意に水中に沈めないでください。

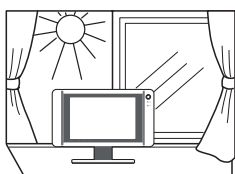


故障の原因になります。



禁止

直射日光があたる場所など、温度が高くなる場所に放置しないでください。



本体や部品に悪い影響を与え、変形や故障の原因になります。



禁止

火気の近くで使用しないでください。

火災や故障の原因になります。



強制

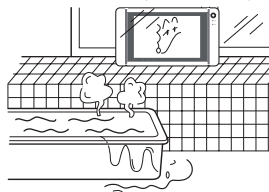
長期間(2週間以上)ご使用にならないときは、主電源スイッチを切ってください。

電池の破裂・液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。



禁止

風呂場やシャワー室など、湿度の高い場所には長時間放置しないでください。



故障の原因になります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。



落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。



注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

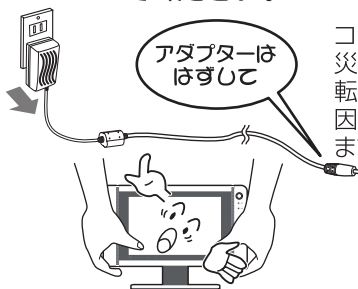


耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をあたえることがあります。



強制

移動する場合は、ACアダプターや外部との接続コードをはずしてください。



アダプターははずして

コードが傷ついて火災の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

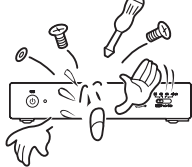
送信機について

警告



絶対に分解・修理・改造は行わないでください。

分解禁止

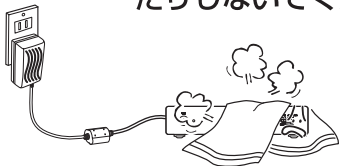


発火・感電・けがの原因になります。また本製品は、電波法の技術基準適合証明を受けた部品を内蔵していますので、分解すると法律で罰せられることがあります。修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。



使用中は、本体やACアダプターを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

禁止

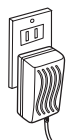


熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。風通しの良い状態でご使用ください。



付属の専用ACアダプターを使用してください。

強制



付属以外のACアダプターを使用すると、火災や故障の原因になります。



送信機を病院内に設置しないでください。

禁止

医療機器の誤動作の原因になることがあります。



プラグを抜く

煙がでたり、変なにおいや音が出る場合は、すぐにACアダプターを抜き、販売店か「お客様サービス係」にご相談ください。



異常のまま使用すると火災・感電の原因になります。



水場での使用禁止

送信機は水のかかるところや、湿度の高いところでは使用しないでください。

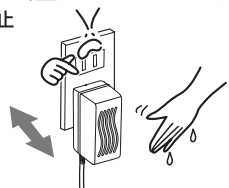


送信機は防水ではありません。感電・故障の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。



感電の原因になります。

注意



強制

専用ACアダプターは日本国内専用です。交流100Vでお使いください。



故障の原因になります。



禁止

直射日光が当たる場所など、温度が高くなる場所に放置しないでください。

本体や部品に悪い影響を与え、変形や故障の原因になります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。



落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。



強制

移動させる場合は、ACアダプターや外部との接続コードをはずしてください。

コードが傷ついて火災の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

充電台について

警告



水場での
使用禁止

充電台は水のかかるところや、湿度の高いところでは使用しないでください。

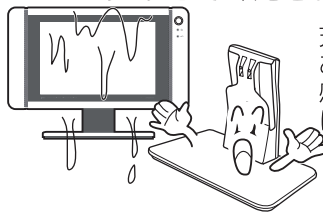


充電台は防水ではありません。
感電・故障の原因になります。



強制

防水モニターが濡れているときは、水をよくふき取ってから充電台にのせてください。

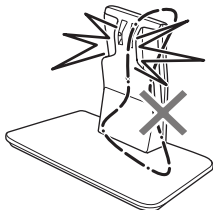


充電台は防水ではありません。
感電・故障の原因になります。



禁止

充電台の充電端子どうしを金属のピンやネックレスなどでショートさせないでください。



感電・故障や火災の原因になります。



禁止

ACアダプターの使用中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。



熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。
風通しの良い状態でご使用ください。



強制

充電台の充電端子およびACアダプターの電源プラグは定期的に清掃してください。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



強制

付属の専用ACアダプターを使用してください。

付属以外のACアダプターを使用すると、火災や故障の原因になります。

注意



強制

専用ACアダプターは日本国内専用です。交流100Vでお使いください。

故障の原因になります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。

電源について

警告

ACアダプター接続時の注意

次のことをお守りください。

誤った使いかたをすると発熱などにより火災の原因になります。



強制

ACアダプターはコンセントへ確実に差し込んでください。



禁止

ACアダプターのコードは束ねたままにしないでください。



コンセントの単独使用

タコ足配線はしないでください。

ACアダプターのコードを傷つけない

無理な使いかたをするとACアダプターのコードが破損しますので、次のようなことをお守りください。

ACアダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

熱器具に近づけないでください。

定期的な点検を



強制

電源コンセントとACアダプターの間にはホコリが付着していないか、ACアダプターのコードに傷みがないか、ACアダプターの接続がゆるくなっていないかなどを定期的に点検してください。

雷が鳴り出したら



禁止

ACアダプターには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

バッテリーパックについて

次のようなことはしないでください。

事故や故障、破裂、発火、けがの原因になります。



禁止

バッテリーパックの交換または製品の廃棄時以外には、バッテリーパックを取り出さないでください。



禁止

バッテリーパックを加熱、分解、ショートさせたり、火の中に投入したりしないでください。



禁止

バッテリーパックを誤った方法で取付けしないでください。正しくしっかりと取付けてください。



禁止

バッテリーパックの端子を針金やヘアピンなどで接続しないでください。



禁止

指定された充電方法以外での充電はしないでください。

電波について

警告

本製品は、5GHz帯の電波を使用しており、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、技術基準適合証明を受けた部品を内蔵していますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造すること。
 - 本製品の内部に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 屋外で5GHz帯の電波を使用することは電波法により禁じられています。
- 無線通信は、医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。病院など使用が禁止される場所や医療機器の近くで使用しないでください。
- ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、本製品を十分に(22cm以上)離してご使用ください。

注意

- 本製品の近くで、5GHz帯の電波を利用する機器を利用している場合、電波干渉を受けて映像や音声途切れたり、画面にブロック状のノイズが出ます。電波の干渉を受けないように、通信チャンネルの変更をしてください。
 - 5GHz帯の無線LAN(IEEE802.11aなど)
- 次のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなることで、映像や音声途切れたり、画面にブロック状のノイズが出る場合があります。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波を発生する機器の近く。
 - 送信機と防水モニターの間または近くに、金属や石や土が使われている壁、ドア、間仕切り、大型の家具や電化製品、防火ガラス等がある場合。
 - 送信機と防水モニターの間に入ったり、間を人が横切ったりするとき。
- 送信機から防水モニターに届く電波には、まっすぐに届く電波の他に、建物内の様々なものによって反射されたいくつかの電波があります。この反射された電波によって、電波状態の良い場所と悪い場所ができます。そのような場合には、送信機または防水モニターを少し動かしたり、向きを変えたりすると、電波状態が良くなる場合があります。
- 本製品は電波を利用している関係上、第三者が故意に傍受する場合も考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることに使用しないでください。

使用上のお願い

映像について

- 本製品は、送信機に入力された映像・音声信号をデジタル圧縮処理をして送信し、防水モニターで伸張処理をして映像・音声を再生しています。このため、防水モニターの映像・音声は、送信機に入力された映像・音声と比べてわずかに遅れて再生されます。また、テレビチューナーを接続した場合はテレビ放送の時報がわずかに遅れますので、ご注意ください。
- 防水プリセットリモコンで映像機器を操作する場合、映像機器の動作時間に本製品の動作時間も加えられるため、リモコンで操作してから防水モニターの映像・音声が発音するまでに時間差が発生します。

結露について

- 冷えきった状態で温かい室内に持込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部品に結露が生じ、十分な性能が出せない場合があります。
このようなときは約2～3時間程度放置してからご使用ください。
- 防水モニターが温まった状態で温度の低い部屋に持ち込んだり、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたりすると、内部や画面の内側に結露が生じる場合があります。
このようなときは、ACアダプターを接続して電源を入れておくと、結露がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

防水について（防水モニター、防水プリセットリモコン）

防水モニターと防水プリセットリモコンはJIS IPX7※相当の防水が施されており、浴室などの水しぶきがかかる場所でも使用できますが、以下の点に十分ご注意ください。

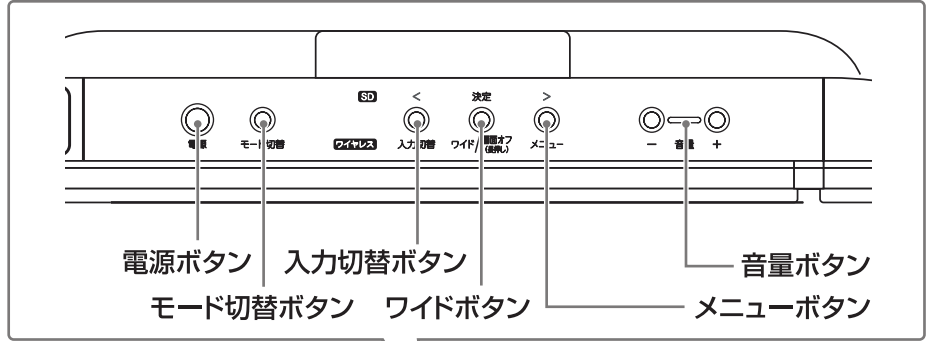
※IPX7…定められた条件（1m、30分）で常温の水道水中に没しても内部に水が入らないもの。

- 水中用ではありませんので、水やお湯の中で使用することはできません。特に石けん、洗剤、入浴剤の入った水やお湯に入れると、防水性能に影響を与えるおそれがありますのでご注意ください。誤って水中に落とした場合はすぐに拾いあげてください。
- 多量の水や、強い水しぶきをかけないでください。
- 浴室、台所などの水まわりではジャックカバーや電池ふたを開けないでください。ジャックカバーや電池ふたが開いた状態では防水になりませんので、確実に閉まっていることを確認してお使いください。ジャックカバーや電池ふたを開閉するときは、十分に水滴をふき取り、水のかかる恐れのない場所に運んでから乾いた手で行ってください。
- 使用後は、浴室などの湿度の高い場所に放置せず、柔らかい布で水をふき取って室内に置いてください。
- ジャックカバーや電池ふたまわりのゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な部品です。汚れや傷がつかないように注意してください。また、ゴムパッキンに毛髪やゴミなどが付着したときは、水がかかる恐れのない場所で柔らかい布でふき取ってください。

水中で使用したり、ジャックカバーや電池ふたを開いた状態で水まわりで使用すると、内部に水が侵入する恐れがあります。水の侵入による製品の故障については、保証期間内でも無料修理の対象外となりますのでご注意ください。

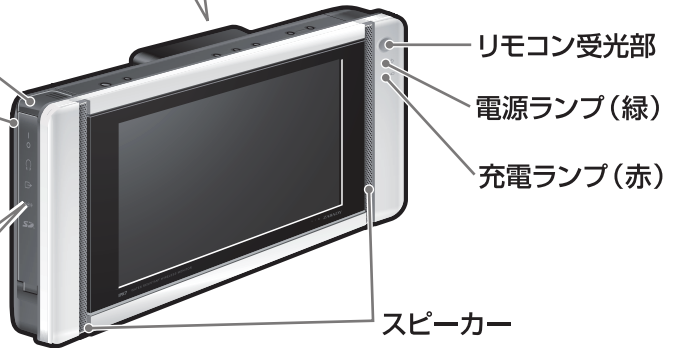
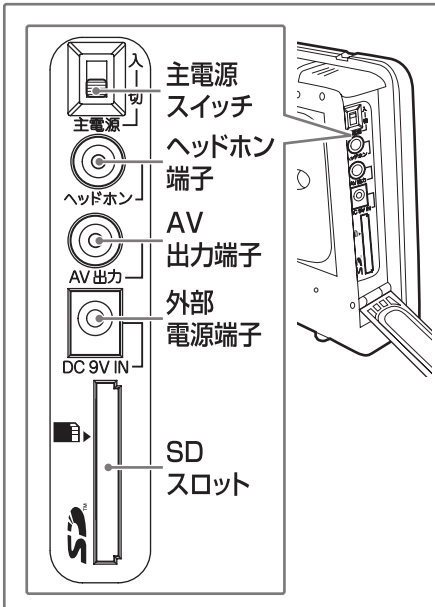
各部の名称

防水モニター

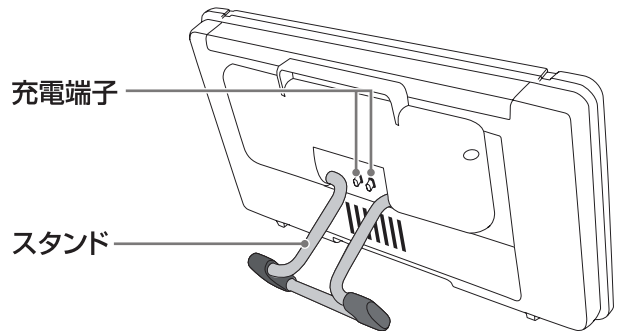


ジャックカバーロック

ジャックカバー



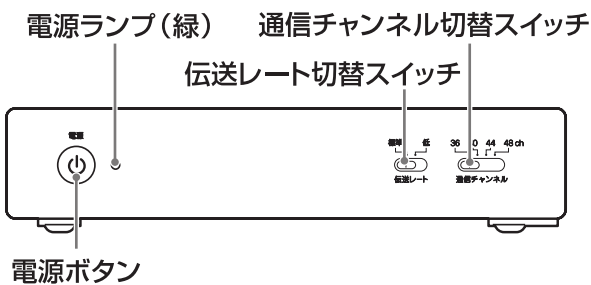
〈防水モニター背面〉



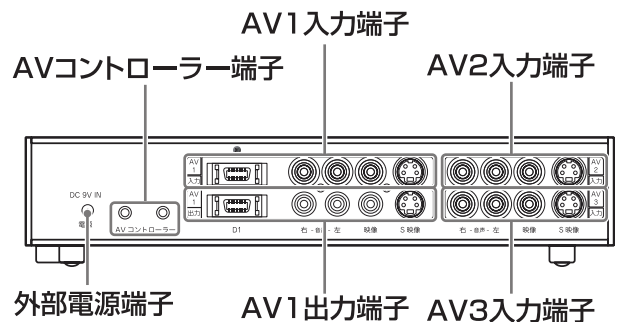
各部の名称

送信機

〈送信機表面〉

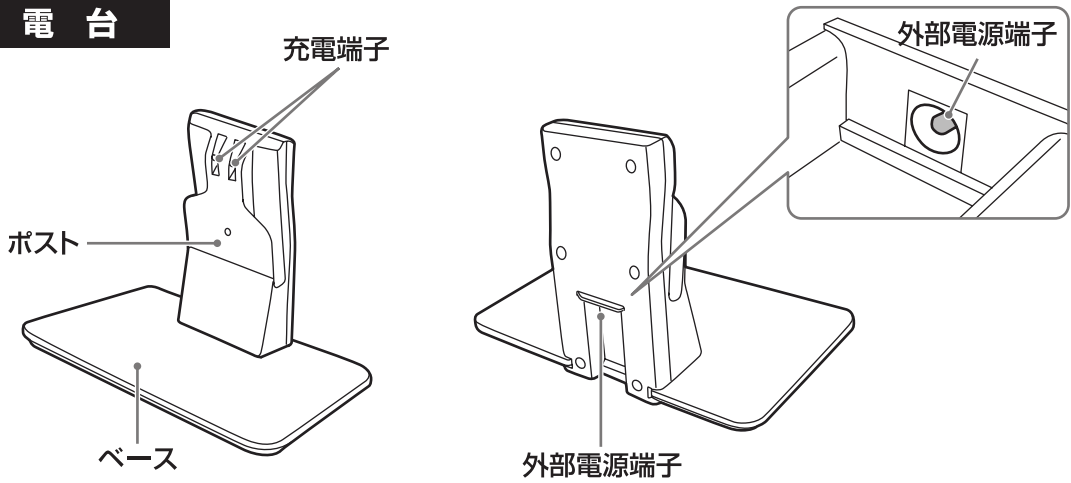


〈送信機背面〉



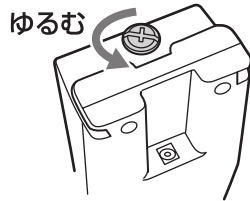
各部の名称 (つづき)

充電台

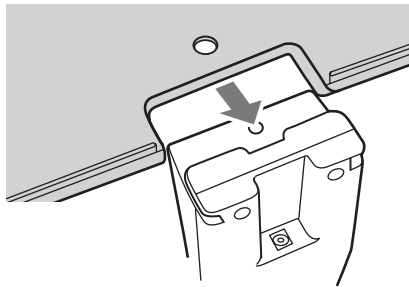


充電台の組み立てかた

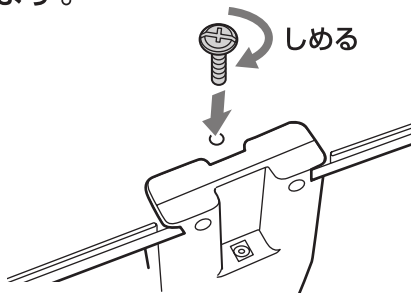
1. ポスト底面のネジをコインやドライバーではずします。



2. ベースの取付け部分をポストにはめ込みます。

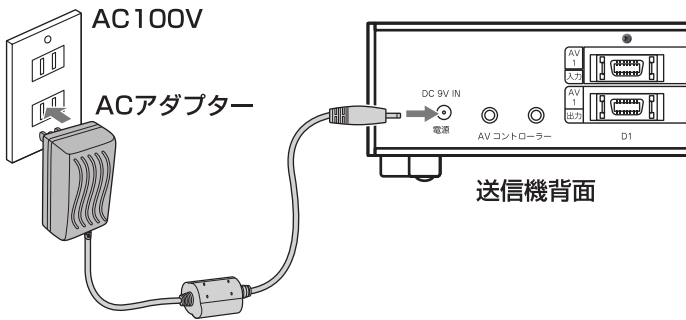


3. ベースとポストをセットした状態で底面のネジをコインやドライバーでしっかりと締めます。



機器の準備

送信機の電源

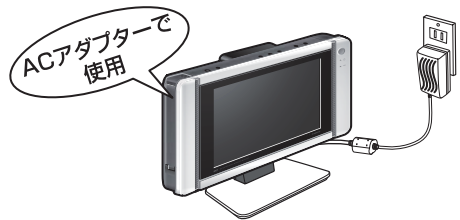


付属のACアダプターを、送信機とコンセントに接続します。

防水モニターの電源

防水モニターは、内蔵のバッテリーパックまたは付属のACアダプターをご使用になれます。

水まわりで使用するとき



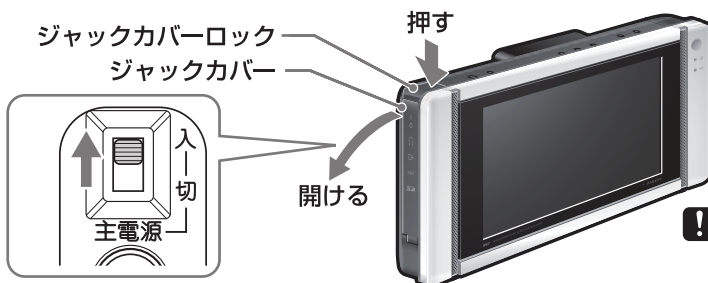
バッテリーパックは消耗しません。

バッテリーパックを充電する

⚠注意

- お買上げ後、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず充電ランプが消灯するまで充電を行ってください。充電中に電源ボタンを押すと充電は中断されます。
- 防水モニターのジャックカバーが開いている状態では防水性能を保てません。水回りでのご使用の場合、ジャックカバーが完全に閉まっていることを確認してからご使用ください。

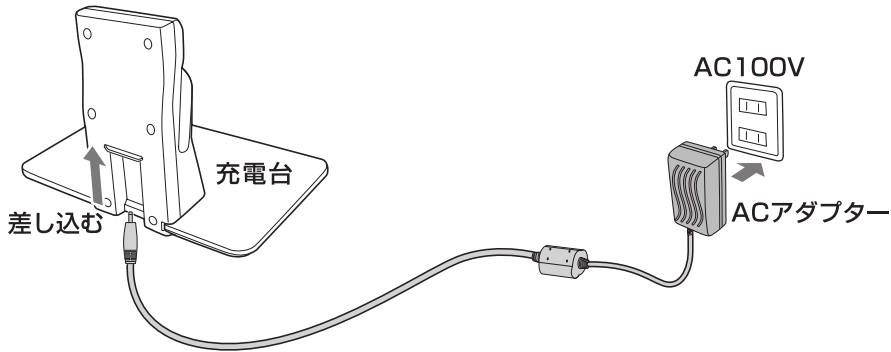
1. 防水モニターのジャックカバーロックを押してジャックカバーを開け、主電源スイッチを「入」にします。



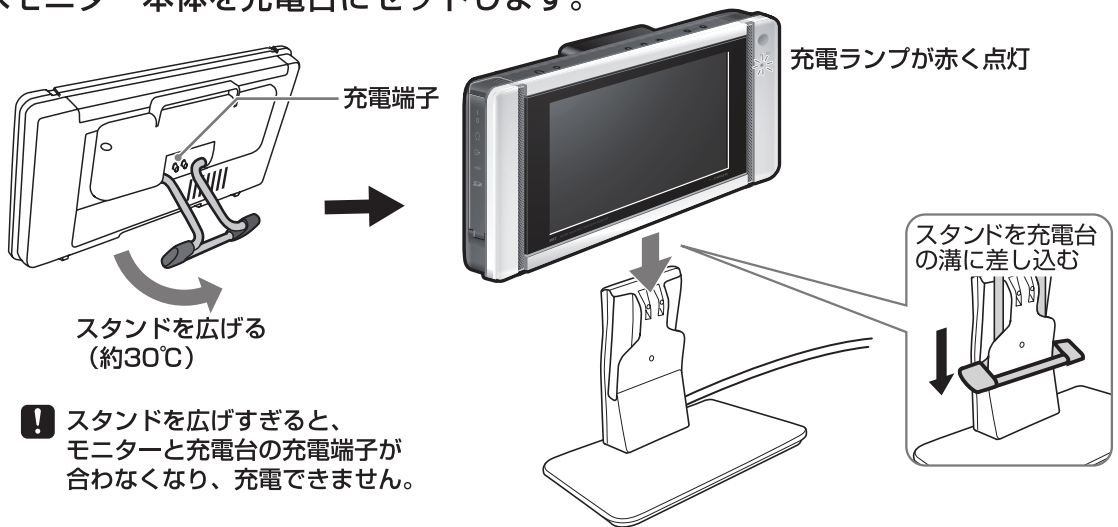
⚠ 主電源スイッチを「入」にしないと、充電することができません。

機器の準備 (つづき)

2. 付属のACアダプターを、充電台とコンセントに接続します。



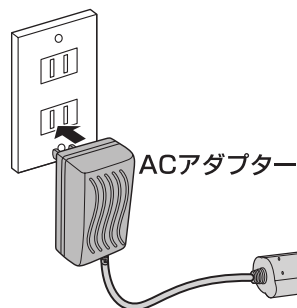
3. 防水モニター本体を充電台にセットします。



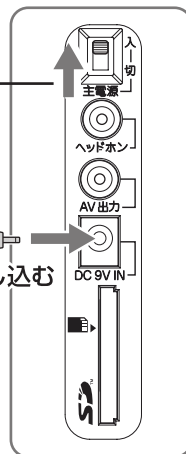
充電台を使用しないで防水モニターに直接充電することもできます。

主電源スイッチを「入」にします。

AC100V



差し込む



ジャックカバー
ジャックカバーロック

押す

開ける

❗ 主電源スイッチを「入」にしないと、充電することができません。

4. 充電が終了すると、充電ランプが消灯します。

約8時間の充電で最大3.5時間、防水モニターをご使用になれます。
(バッテリーパックの使用状態によって異なります。)

映像機器との接続

- 出力端子のない映像機器と本機を接続することはできません。
- 接続するときは、映像機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

接続について

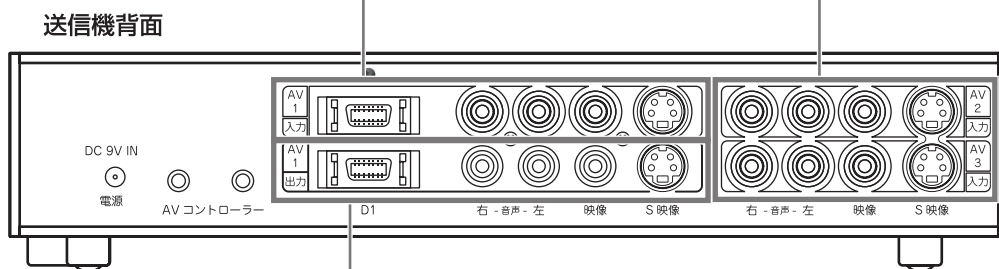
- 本機を映像機器と接続するときは、本機および映像機器の電源を必ず「切」状態にしてから接続してください。
- 接続する映像機器の使用方法や接続のしかたは、それぞれの機器の取扱説明書に従ってください。
- 映像出力のないオーディオ機器（CDプレーヤーなど）を接続して音声のみを防水モニターから出力することはできません。
必ず映像出力のある機器と接続して、映像信号を入力してください。
- 接続用の AV ケーブルおよびS映像ケーブルは2本ずつ付属しておりますが、足りない場合は市販のケーブルをお買い求めください。

AV1入力

映像機器の出力端子と接続して、防水モニターに映像機器で再生された映像を送信します。
(17ページ)

AV2入力・AV3入力

「AV1入力」と同様に映像機器で再生した映像を防水モニターに送信します。「AV2入力」・「AV3入力」に接続した場合、本体動作中に入力切替ボタンによってAV1～AV3の切り替えを行うことで、視聴できます。
AV1～AV3にそれぞれ別の機器を接続することで、3つの映像機器を切り替えて視聴することができます。
入力切替については22ページをご覧ください。



AV1出力





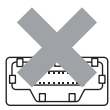
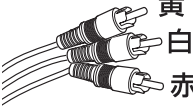

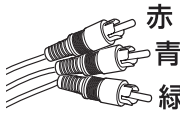

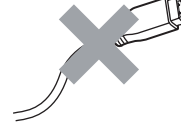
「AV1入力」に接続された映像機器の映像をテレビなどに映す際に用います。(18ページ)

機器の準備 (つづき)

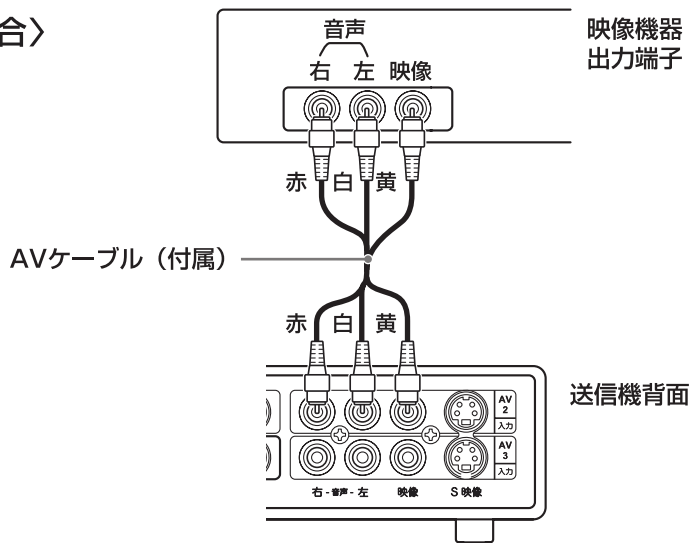
接続する端子とケーブルについて

- 送信機と映像機器は AV ケーブルで接続します。映像機器に「S 映像端子」、「D 端子」または「コンポーネントビデオ端子」がある場合、AV ケーブル（黄）の代わりに「S 映像ケーブル」、「D 端子ケーブル」または「D-コンポーネントビデオケーブル」を接続することでより高画質な映像を防水モニターで視聴できます。
- 「D 端子ケーブル」および「D-コンポーネントビデオケーブル」は付属していません。「D 端子」および「コンポーネントビデオ端子」をご使用の際は、映像機器との接続に適したケーブルをご用意ください。
- 本製品に搭載されている D 端子は D1 信号に対応しています。D2 ~ D5 信号には対応していません。
- D 端子は、「AV1 入力」、「AV1 出力」のみに搭載されています。

各映像端子の画質

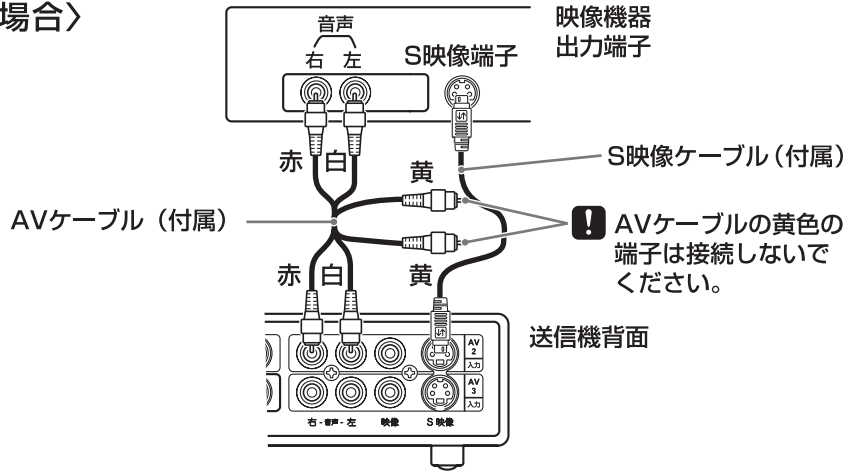
標準画質 ←		→ 高画質		
 AV端子 (黄)	 S映像端子	緑 青 赤  コンポーネントビデオ端子  D端子	 HDMI端子	
 AVケーブル (付属)	 S映像ケーブル (付属)	 コンポーネントビデオケーブル (本機には接続できません)	 D端子ケーブル (別売)	 HDMIケーブル (本機では使用できません)

<AV端子に接続する場合>

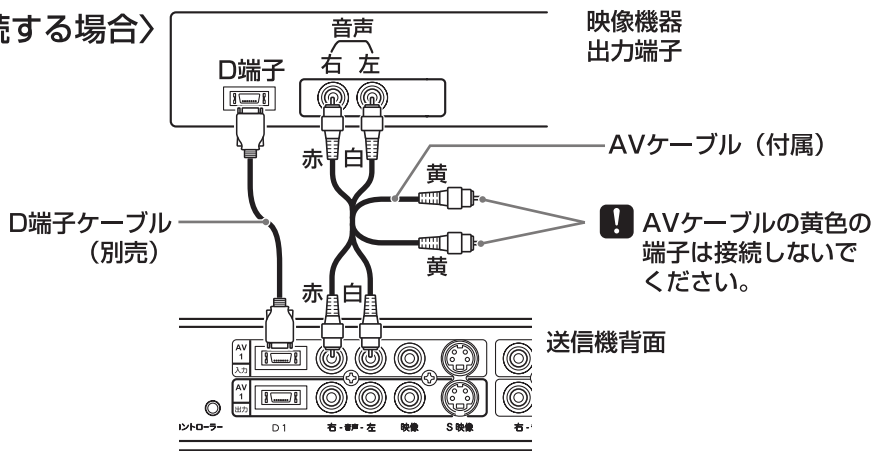


機器の準備…映像機器との接続

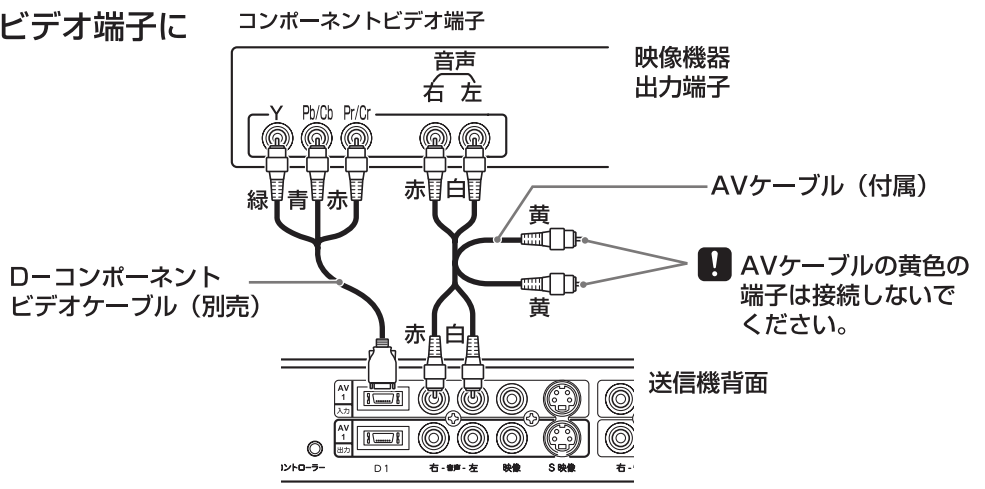
〈S映像端子に接続する場合〉



〈D端子に接続する場合〉



〈コンポーネントビデオ端子に接続する場合〉

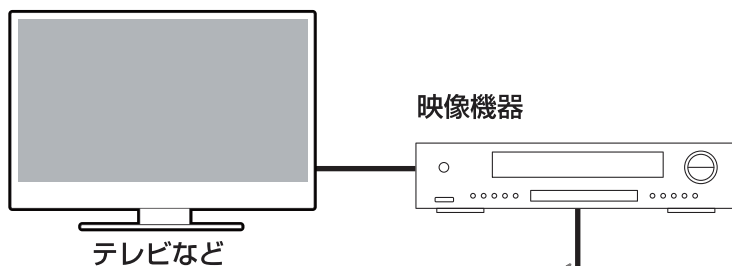


機器の準備：映像機器との接続

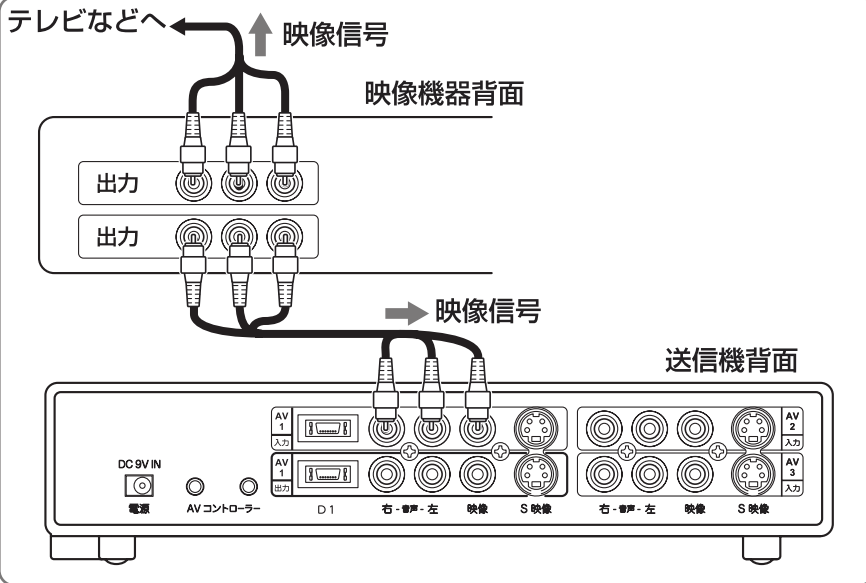
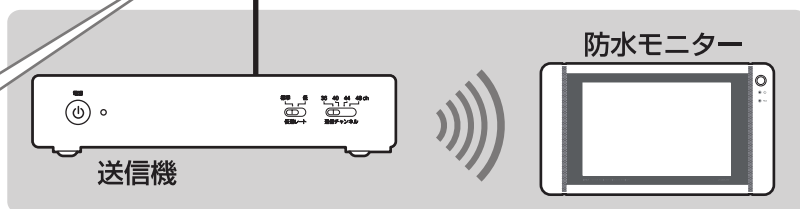
機器の準備 (つづき)

映像機器の映像を防水モニターで見る

〈お手持ちの映像機器の出力端子に“空きがある”場合〉



- お手持ちの映像機器の出力端子に“空きがない”場合、18ページの接続例に従って接続してください。



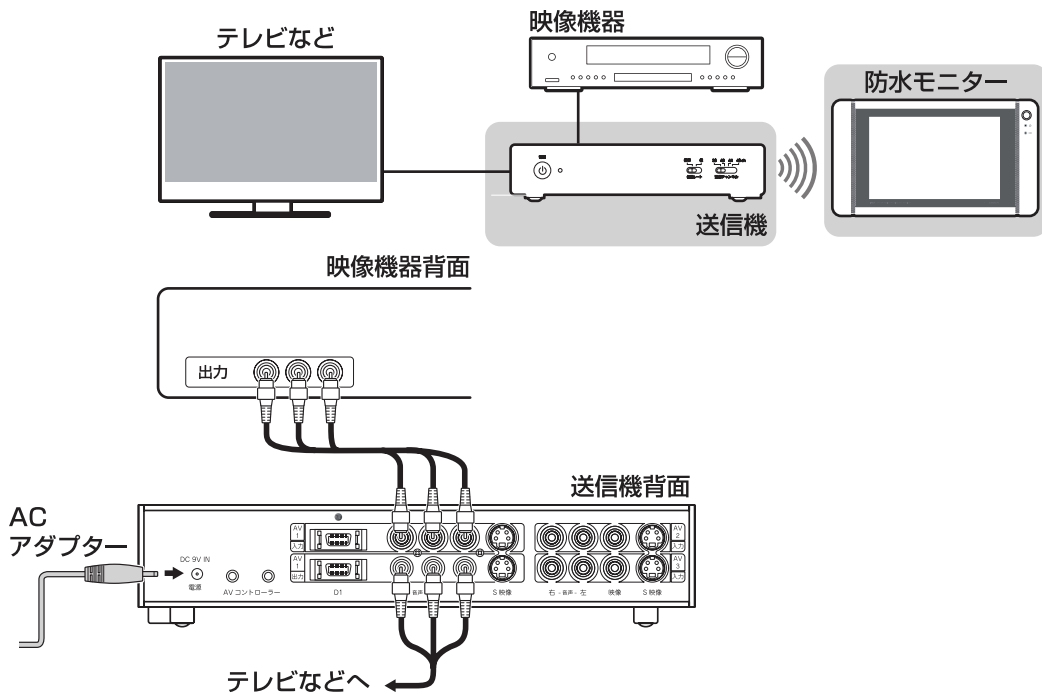
左の接続例は、AV1により映像機器を見る場合の接続です。AV2入力やAV3入力に接続しても、防水モニターの入力切替により、同様に視聴することができます。

△注意

映像機器とテレビなどとの接続方法によっては、防水モニターの映像が正常に表示されない可能性があります。(25~26ページ)

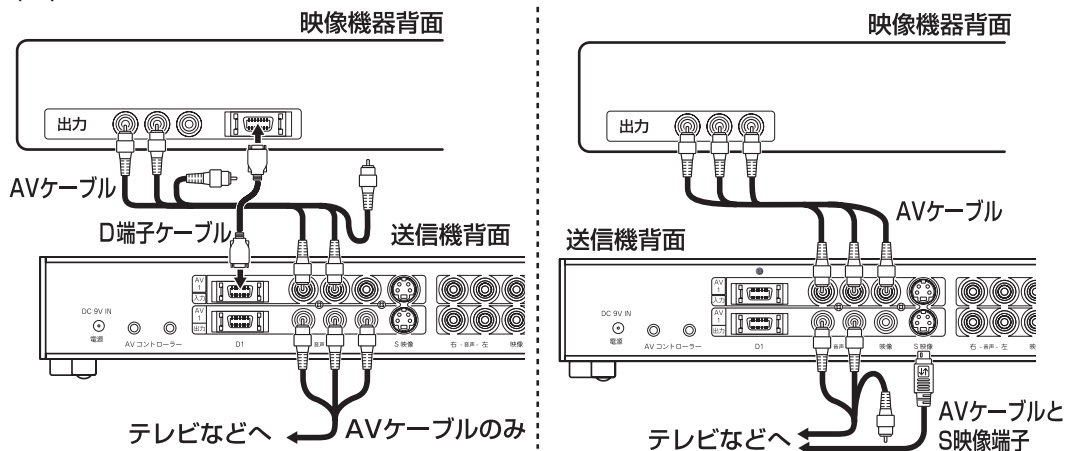
〈お手持ちの映像機器の出力端子に空きがない場合〉

映像機器の出力端子にすでにテレビなどが接続されていて、映像機器に空いている出力端子がないとき、テレビなどを送信機のAV1出力端子に接続しなおすことで映像機器の出力端子を空けて送信機を接続することができます。



- 送信機のAV1出力端子をお使いになる場合、ACアダプターを送信機とコンセントから抜かないでください。
- 送信機にACアダプターが接続されていれば、送信機の電源が「切」状態でも、映像機器とテレビなどが直接接続されている状態と同様にテレビなどを使用することができます。
- AV1出力端子は、AV1入力端子に接続された信号のみを出力します。「送信機－映像機器」と「送信機－テレビなど」の接続には同じ映像端子（AV端子黄／S映像端子／D端子）を使用してください。

× 下記のような接続をすると映像はテレビなどに正常に表示されません

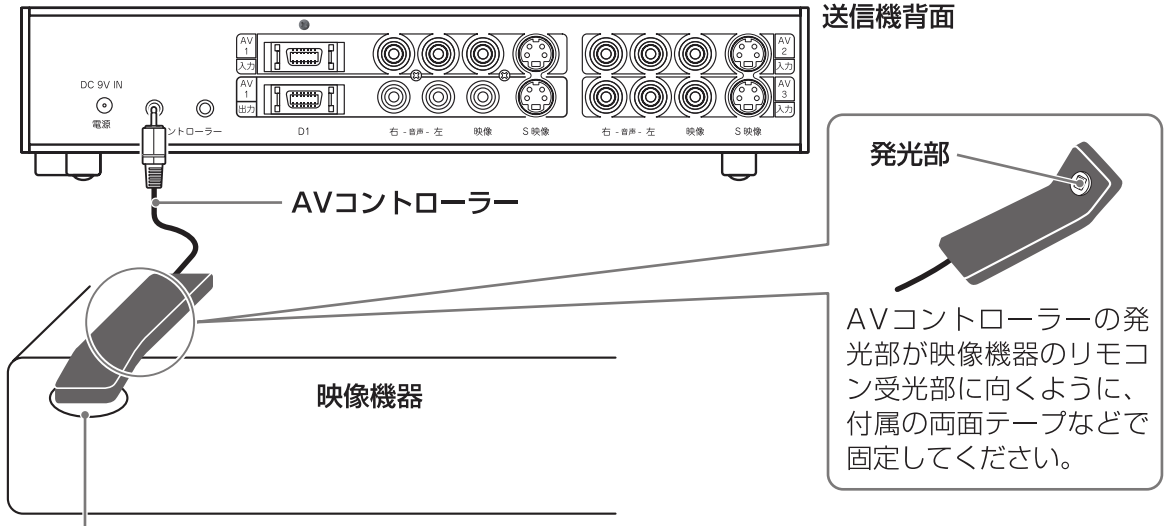


機器の準備 (つづき)

AVコントローラーの接続

AVコントローラーを接続すると、送信機に接続した映像機器を防水モニター側から防水プリセットリモコンで操作できるようになります。AVコントローラーは2本まで送信機に接続することができます。

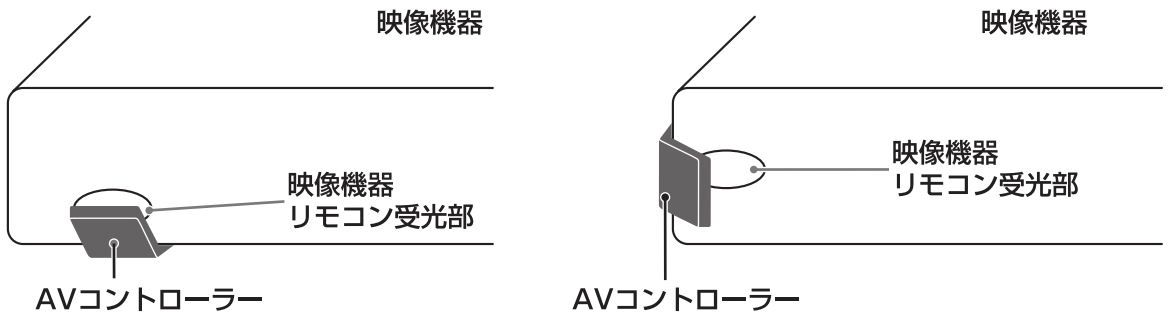
! AVコントローラーを接続しないと、送信機に接続した映像機器を防水モニター側から防水プリセットリモコンで操作できませんので、必ず接続してください。



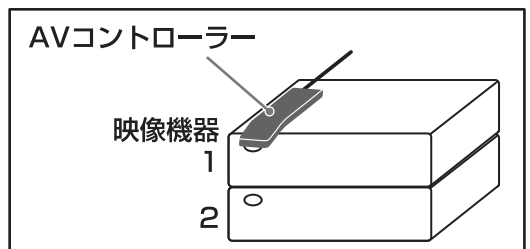
リモコン受光部

- 映像機器のリモコン受光部の位置は、映像機器の取扱説明書でご確認ください。
- AVコントローラーの赤外線信号は30cm程度の範囲に届きます。その範囲内で複数の映像機器のリモコン受光部がある場合は、1つのAVコントローラーでリモコン操作ができます。
(例：映像機器を重ねて置いている場合など)
- AVコントローラーの設置は、通信が確立している状態(防水モニターにアンテナマークが表示されている)で防水モニターのリモコン受光部に映像機器のリモコンを向けて映像機器が操作できれば適切です。

[AVコントローラーの設置例]



- 送信機と接続した映像機器2台以上が近くにあるとき、1つのAVコントローラーで複数の機器をリモコン操作できる場合があります。



防水プリセットリモコンの準備

電池を入れる

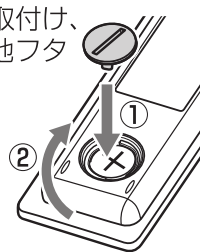
1. リモコン裏側の電池フタをコインで回してはずします。



2. 付属のリチウム電池 (CR2032) の⊕を上側にしておきます。



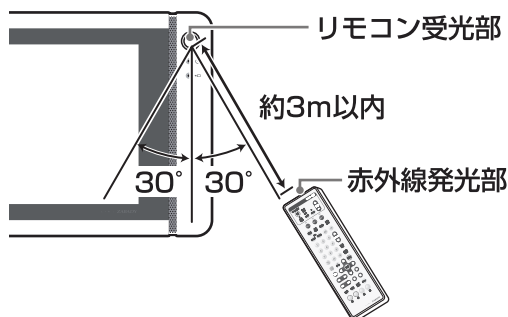
3. 電池フタを取付け、コインで電池フタをしっかりと閉めます。



△注意

- 防水プリセットリモコンの電池が消耗すると、リモコンを防水モニターの近くで操作しても動作しなくなります。そのような時は新しい電池に交換してください。
- 電池を入れた後、防水プリセットリモコンが正常に動作しない場合 (赤ランプが点滅を繰り返すなど) は、いったん電池を抜き、10秒ほど待ってから電池を入れ直してください。入れ直しても改善されない場合は電池が消耗しています。新しい電池に交換してください。
- 保証期限の過ぎた電池や、一部の海外メーカーなどの電池を使用した場合、電池電圧が大きく変動するため、使用時間が極端に短くなり、正常に動作しない場合があります。
- 電池は、国内メーカー品のCR2032リチウム電池を使用してください。
- 付属の電池はお試用です。寿命が短いことがあります。ご了承ください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は各自治体の指示 (条例) に従ってください。
- 防水プリセットリモコンを長期間 (1ヶ月程度) 使用しない場合は、電池を取りはずしてください。防水プリセットリモコン内の電池が液漏れを起こす場合があります。

リモコンの使える範囲

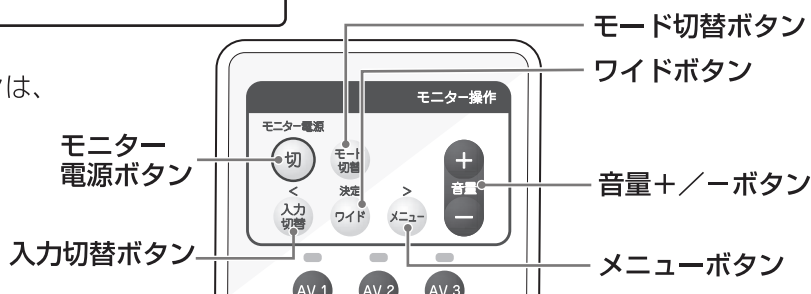


△注意

- 防水モニターのリモコン受光部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。
- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなります。そのようなときは新しい電池に交換してください。「防水プリセットリモコン取扱説明書」(別冊)の5ページをご覧ください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光やインバータ蛍光灯の強い光が当たると、正常に動作しないことがあります。

ボタンの機能

防水プリセットリモコンの「モニター操作」枠内のボタンは、防水モニター上部のボタンとほぼ同じはたらきをします。



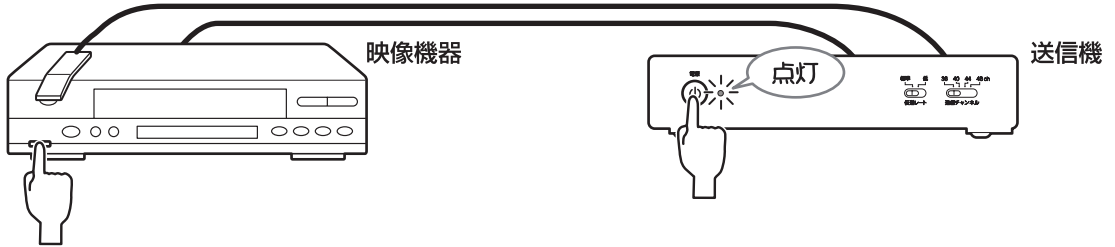
△注意

- 防水モニター電源が入っていないと、リモコンで操作することはできません。
- 防水プリセットリモコンに、映像機器のリモコン信号を事前に設定 (プリセット) または学習させないと、映像機器を操作することはできません。プリセット・学習の方法、映像機器の操作は、「防水プリセットリモコン取扱説明書」(別冊)をご覧ください。

使いかた **ワイヤレスモード** (つづき)

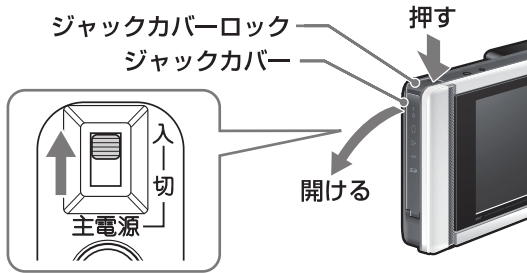
基本的な操作

1. 送信機の電源を入れてから映像機器の電源を入れます。 AVコントローラ

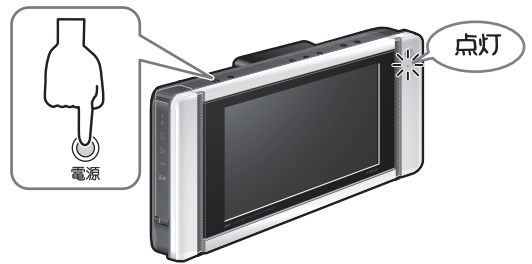


2. 防水モニターの電源を入れます。

- ① ジャックカバーをあげ、主電源スイッチを「入」にします。



- ② 本体の電源ボタンを押し、防水モニターの電源を入れます。



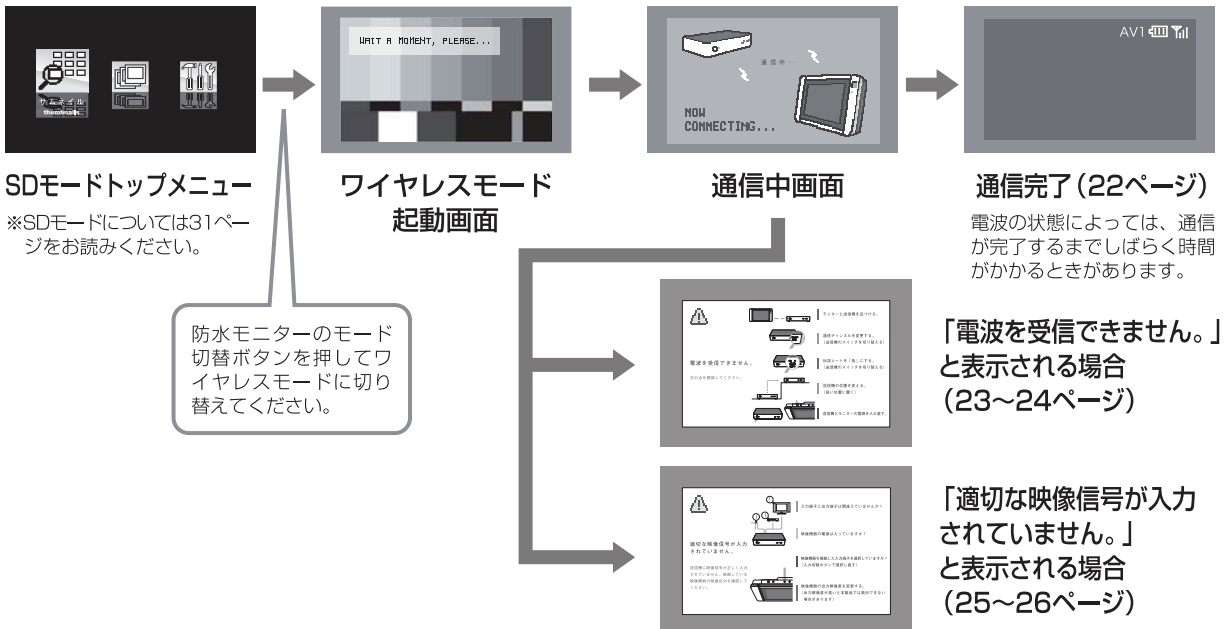
防水モニターの電源を入れてワイヤレスモードを起動すると、送信機と通信を開始します。

SDモードになっているときは、モード切替ボタンを押してワイヤレスモードに切り替えてください。

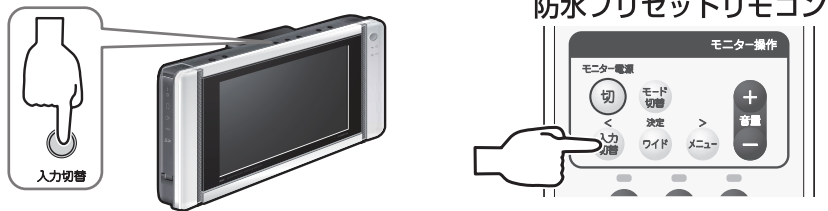
防水モニターには起動画面が表示された後、通信画面に移行します。

電波の状態によっては通信が完了するまでしばらく時間がかかることがあります。

- ❗ 充電中に電源ボタンを押すと充電は中断されます。
- ❗ 防水プリセットリモコンで電源を入れることはできません。



3. 入力切替ボタンで視聴したい映像機器 (AV1、AV2、AV3) を選択します。

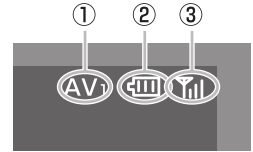


表示されるインジケータについて

送信機と防水モニターの通信が完了すると、画面右上に電池残量や通信状態を示すインジケータが表示されます。

通信状態を非表示に設定 (28ページ) している場合、表示は数秒後に消えます。

- ① 現在画面に表示されている映像機器を表しています。
入力切替によってAV1、AV2、AV3に切り替わります。



- ② 防水モニターのバッテリー残量を表します。

バッテリー残量が多いほど、長時間の動作が可能です。

バッテリー残量が少ない状態で動作を続けると、バッテリーが切れ、防水モニターの電源が切れます。充電を行うか、外部電源端子により動作させてください。(12~13ページ)

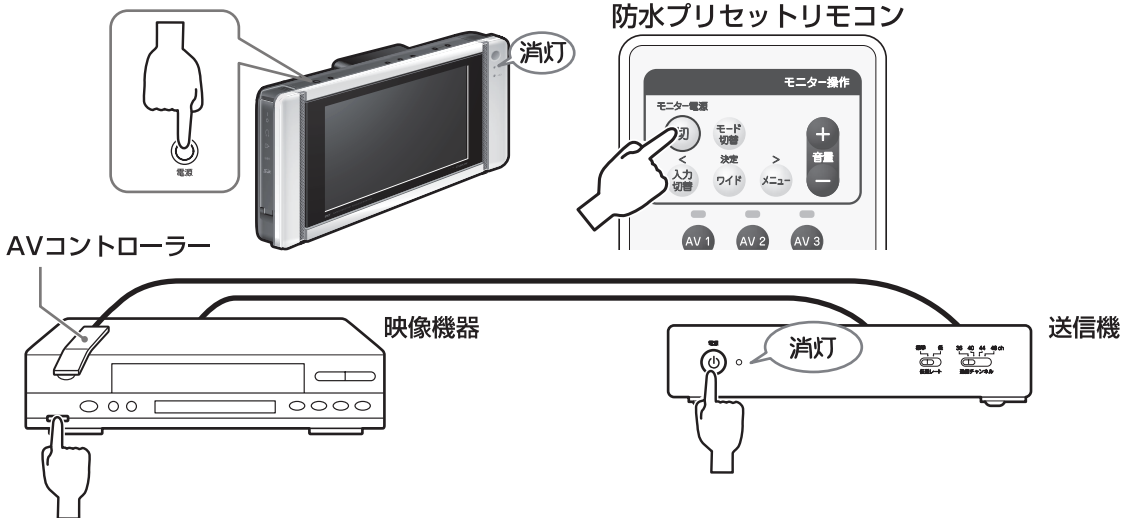


- ③ 受信している電波の強度を表します。

電波強度が強いほど、映像に途切れやノイズが少なくなります。

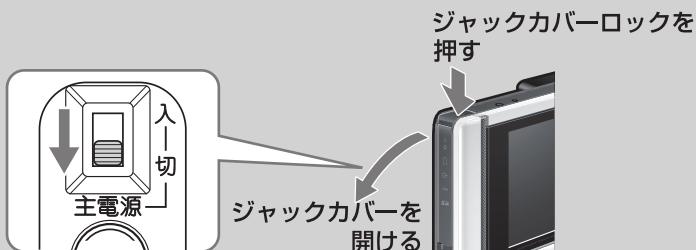


4. 見終わったら、防水モニターの電源を切ってから、映像機器と送信機の電源を切ります。



⚠注意

長期間ご使用にならないときは
防水モニターの主電源スイッチを「切」にしてください。

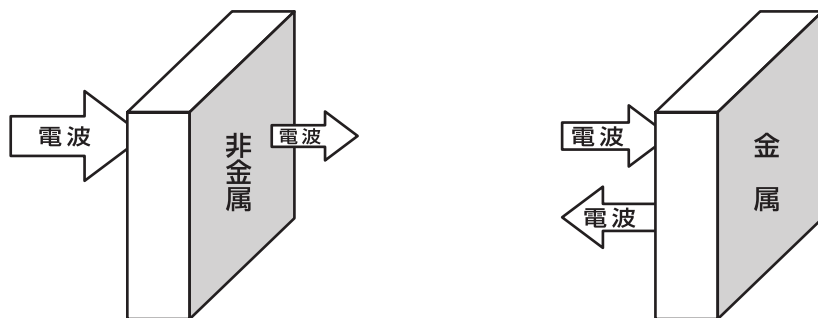


使いかた **ワイヤレスモード** (つづき)

「電波を受信できません。」と表示される場合

本製品に使用している周波数帯の電波は下記の性質を持っています。

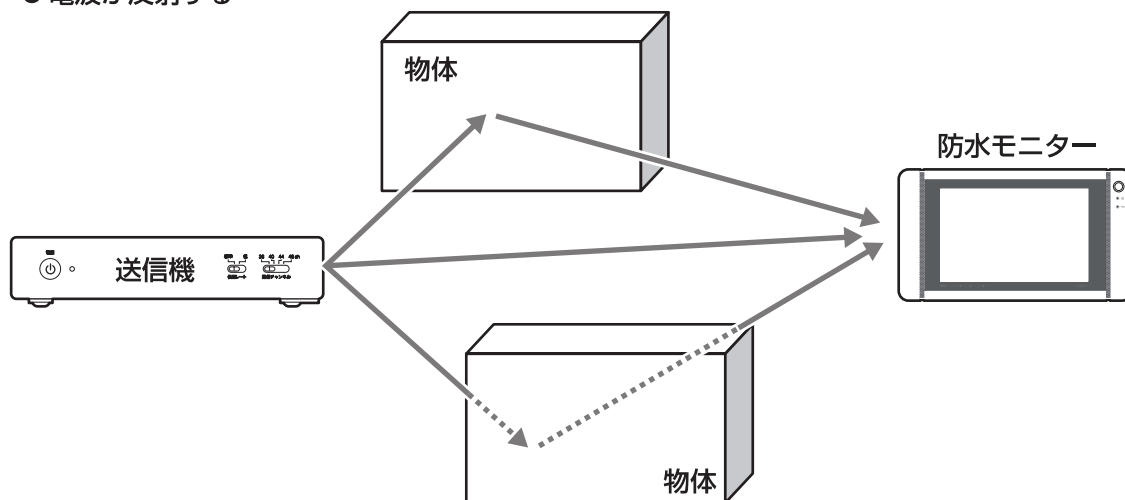
● 障害物により、減衰・反射する



非金属の障害物により減衰

金属の障害物により反射

● 電波が反射する



電波は物体に当たると反射をするため、様々な方向・状態（電波の強度や到達時間の差）の電波が届きます。

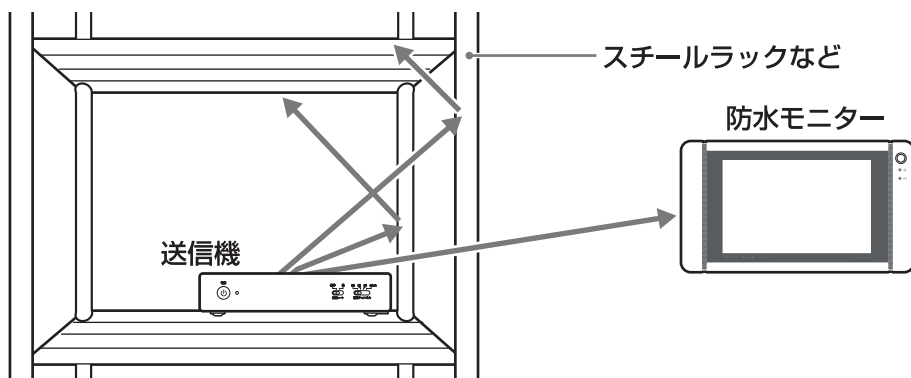
これらの性質が原因で建物内には必ず電波状態の良い場所と悪い場所ができます。
電波を受信できないときは、次の方法を試してください。



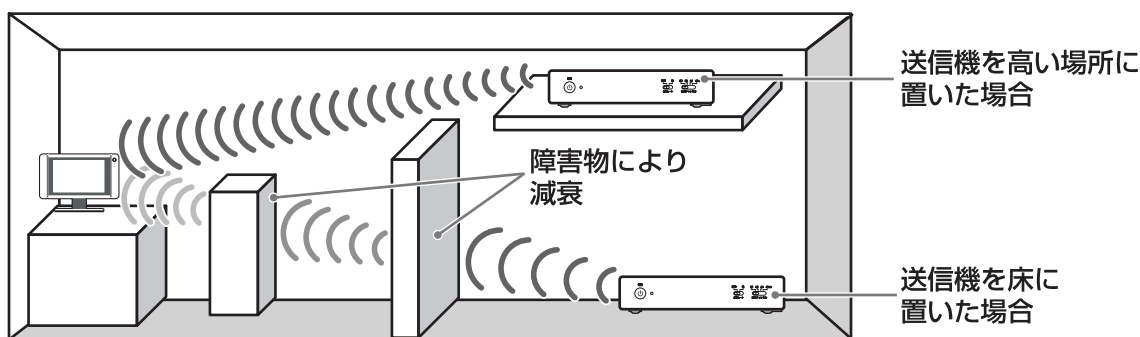
① 送信機の電源が入っていることを確認します。

送信機の電源が切れている場合、電源ボタンを押して電源を入れてください。
また、送信機と防水モニターの電源を入れ直すことで改善される場合があります。

② 送信機・防水モニターの設置場所・向きを変えます。

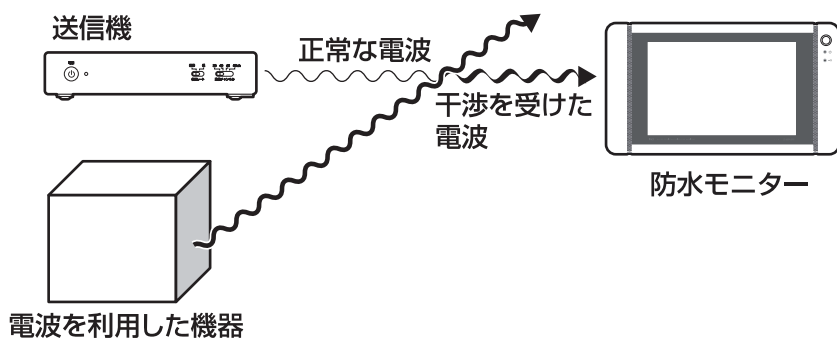


防水モニターや送信機が金属製のもの（スチールラックなど）で囲まれていると、反射により電波が届きにくくなります。



送信機を高い場所に置くことで、障害物が少なくなって電波が届きやすくなる場合があります。また、送信機と防水モニターの間の障害物を少なくしたり、人が頻繁に通らない場所に設置することで改善される場合もあります。

③ 近くで本製品と同じ周波数帯の電波（無線LANなど）を利用している機器より干渉を受けている可能性があります。

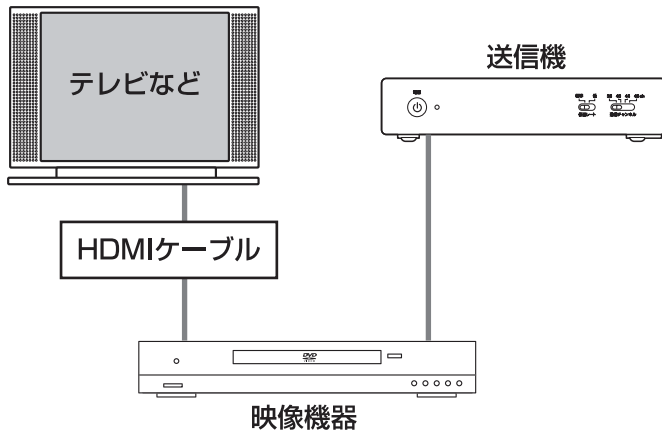


- 無線LANをご使用の場合、本製品またはお使いの無線LANの通信チャンネルを変更することで、お互いの干渉が減ります。お使いの無線LANの通信チャンネルを確認・変更する方法は、無線LANの取扱説明書をご覧ください。本製品の通信チャンネルを変更する方法は、30ページをご覧ください。

使いかた ワイヤレスモード (つづき)

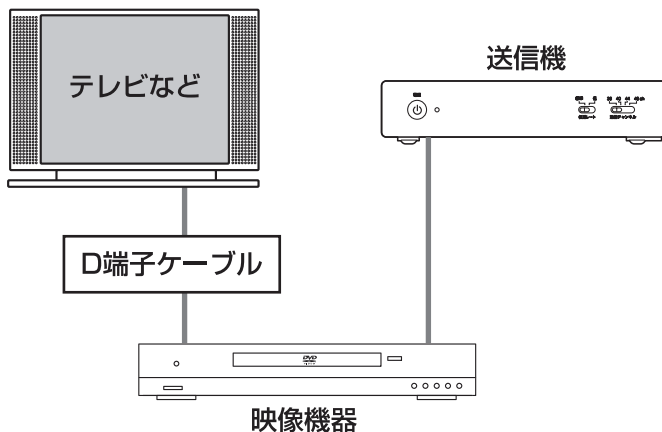
「適切な映像信号が入力されていません。」と表示される場合

① 映像機器とテレビなどの接続にHDMI端子を使用している場合



映像機器とテレビなどを HDMI 端子で接続している場合、映像機器から送信機に対して、正常な信号を出力できなくなることがあります。テレビなどとの同時使用を避けるか、テレビなどとの接続に標準画質用端子（AV 端子、S映像端子、D端子）を用いることで改善される場合があります。詳しくはお使いの映像機器の取扱説明書をご覧ください。

② 映像機器とテレビなどの接続にD端子を使用している場合



映像機器とテレビなどをD端子で接続しているときに映像が正常に表示されない場合があります。映像機器のD端子の映像出力設定が「D2 / D3 / D4」のどれかになっている場合は、「D1」に設定することで改善されることがあります。映像機器の映像出力設定の方法については、映像機器の取扱説明書をご覧ください。

③ テレビの出力端子と送信機の入力端子を接続している場合



市販のテレビの中には、出力端子の機能に制約があるものがあります。このようなテレビでは出力端子から映像信号が出力されない場合があります、その状態で送信機に接続しても防水モニターに映像が表示されません。

以下のような方法で映像が映るようになる場合があります。

例① テレビの電源を入れないと、出力端子から映像信号が出力されない。

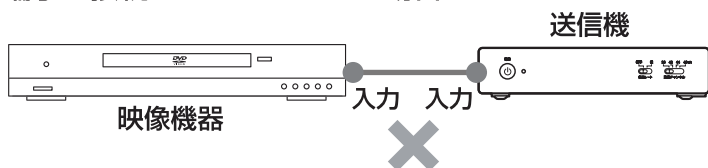
➔ 防水モニターを使用するときは、テレビの電源を入れておいてください。

例② 出力端子が「録画予約用出力端子」になっているテレビは、テレビで録画予約などの設定をしないと出力端子から映像信号が出力されない。

➔ 防水モニターを使用する時間に合わせて、あらかじめテレビで録画予約の設定をしておいてください。

お使いのテレビの操作方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

④ 端子の接続にまちがいがある場合



映像機器と送信機の接続をご確認ください。

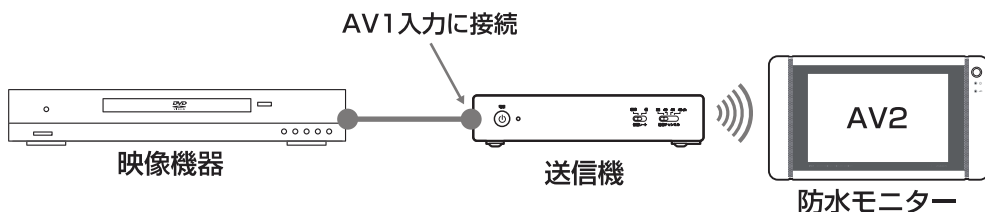
入力同士または出力同士が接続されていたり、入力と出力が逆に接続されていると、映像は表示されません。14～18ページをご覧ください。

⑤ 端子とケーブルの接続にゆるみやはずれがある場合

接続にゆるみやはずれがあると、映像が途切れたり、正常に表示されなくなります。

ゆるみやはずれがある場合は、しっかりと接続してご使用ください。

⑥ 使用する映像機器の接続端子と防水モニターの入力切替AV1～AV3が対応していない場合



入力切替（22ページ）により、正しく選択し直してください。

⑦ 映像機器の電源が入っていない場合

映像機器の電源を入れてください。

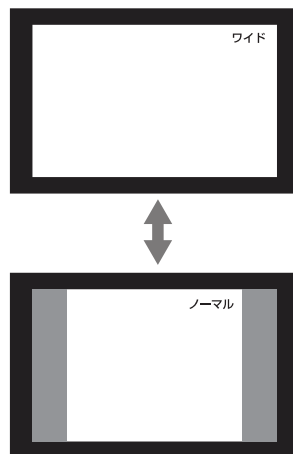
使いかた **ワイヤレスモード** (つづき)

各種設定のしかた

モニター画面表示サイズの切り替え

映像に合わせて画面の表示サイズを切り替えます。

防水プリセットリモコン



ワイドボタンを押すと現在の画面サイズが表示されます。画面サイズが表示されている間に、ワイドボタンを押すたびに、画面の横幅が変わります。

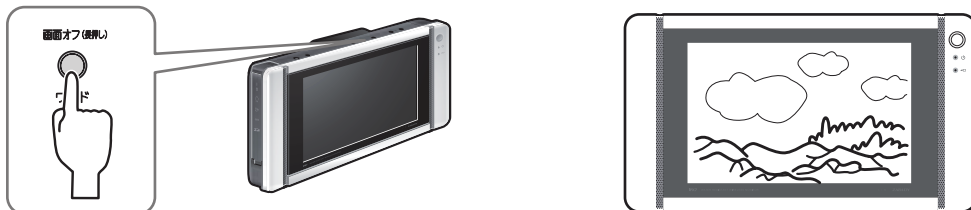
モニター画面の表示を消す

音声のみを聴きたい場合、モニター画面を消すことができます。
(バッテリーの消費が若干少なくなります。)

1. 防水モニターのワイドボタンを約3秒間押し続けるとモニター画面が消えます。



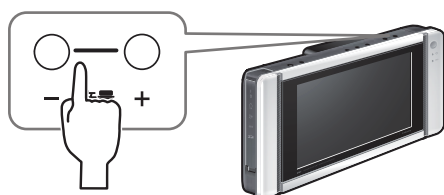
2. 防水モニターのワイドボタン押すと元に戻ります。



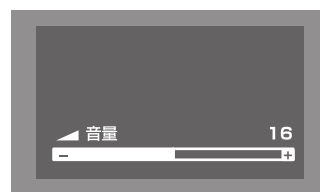
△注意

- 防水プリセットリモコンのワイドボタンでは、「モニター画面表示を消す」操作はできません。
- 画面を消している状態でも音量の調節や入力切替をすることができますがモニター画面には何も表示されませんのでご注意ください。

音量を調節する



防水プリセットリモコン



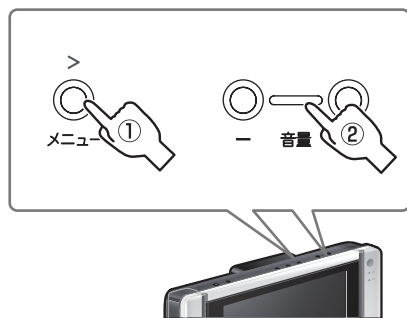
[+] : 音量を上げる
[-] : 音量を下げる

画質の調節・通信状態表示の切り替え

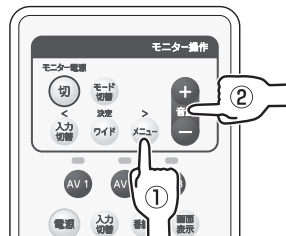
明るさやコントラストなどの画質をお好みの状態に調節したり、送信機との通信状態の表示／非表示を切り替えることができます。

メニューボタンを押して設定項目を選択します。

メニューボタンを押すたびに、次のように画面が切り替わります。設定は音量ボタンを押して調節します。



防水プリセットリモコン



- 約5秒間操作を行なわないと、通常の画面に戻ります。
- それぞれの設定は、電源を切った後も保持されます。

使いかた：画面の調節・通信状態表示の切り替え

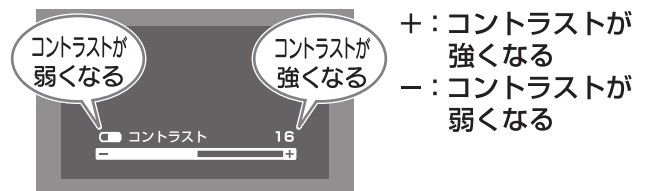
明るさの調節

映像の明るさを調節します。(0-32)



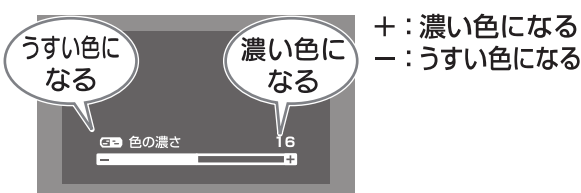
コントラストの調節

映像のコントラスト(濃淡)を調節します。(0-32)



色の濃さの調節

映像の色の濃さを調節します。(0-32)



通信状態の表示切替

通信状態(電波の強さ、選択している映像機器)、バッテリー残量の表示／非表示を切り替えます。



音量ボタン+または-を押すたびに表示と非表示の設定が切り替わります。



表示の設定にすると、画面の右上に、通信状態が常に表示されます。

非表示の設定にすると、入力切替などの操作をしたときに、数秒間だけ表示されます。

使いかた **ワイヤレスモード** (つづき)

伝送レートの切替

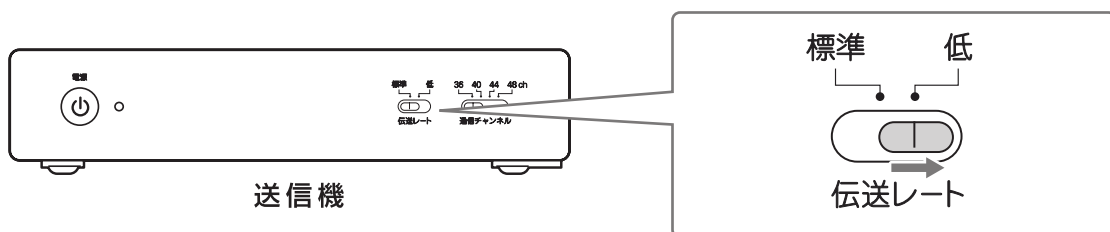
通信が不安定なとき、伝送レート切替スイッチを「標準」から「低」に切り替えることで、通信が安定する場合があります。

ただし、伝送レート切替スイッチを「低」に切り替えると、送信機が防水モニターに送る情報量が少なくなるため、動きの激しい映像などで映像の質が落ちることがあります。

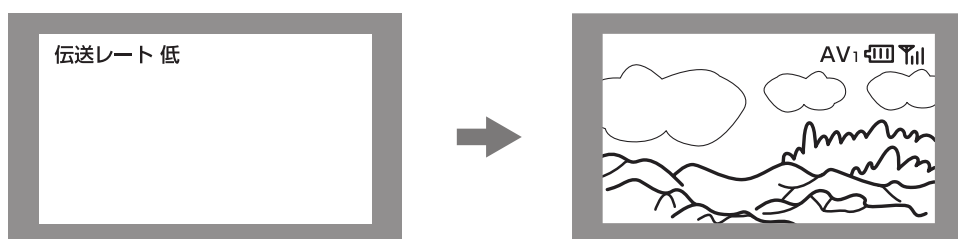
⚠注意

伝送レートの切り替えによって、通信が著しく安定することはありません。

1. 伝送レート切替スイッチで伝送レートを切り替えます。



2. 伝送レートを切り替えると、切り替え後の伝送レートが画面に表示されます。

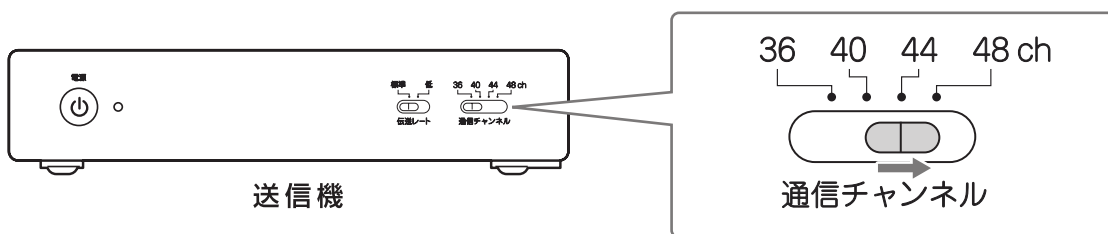


通信チャンネルの切替

通信状態が良くないとき、他の通信機器と混信している可能性がある場合、または電波を受信できないときに、送信機と防水モニターが使用している通信チャンネルを変更することで改善される場合があります。

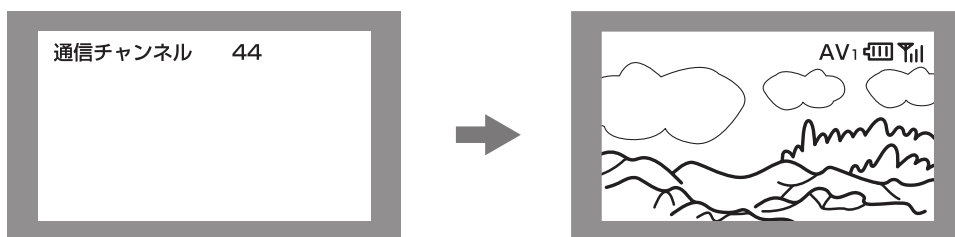
通信チャンネルの変更で改善されない場合、23～24ページをご覧ください。

1. 通信チャンネル切替スイッチで、36・40・44・48chのいずれかに通信チャンネルを変更します。



2. 通信チャンネルを切り替えると、切り替え後のチャンネルが画面に表示されます。

- 通信チャンネル切替スイッチは、1つずつ切り替えてください。
- 通信チャンネルを変更しても通信状態が改善されない場合、更に他のチャンネルに変更してください。



使いかた SDモード

SDモードでは、SDカードに記録した写真ファイルをスライドショー表示したり、音楽ファイルをBGMとして再生することができます。
送信機がない場所や、送信機の電波が届かない場所でも利用できます。（送信機の電源を入れる必要はありません。）

再生できるSDカード

■本製品で使用できるSDカード

カードの種類	容量	フォーマット
SDメモリーカード miniSDカード* microSDカード*	~2GB	SD規格に準拠したFAT16形式でフォーマットされたもの
SDHCメモリーカード miniSDHCカード* microSDHCカード*	4GB~16GB	SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされたもの

※mini SDカード／mini SDHCカード／micro SDカード／micro SDHCカードは、SDメモリーカードに変換するアダプターを装着してお使いください。

- 本書では、上記のカードをまとめて、SDカードと記載しています。
- SDカードの抜き差しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。電源が入った状態でSDカードを抜き差しすると、SDカードに記録されたデータが損失するおそれがあります。
- 市販されている全てのSDカードでの動作を保証するものではありません。
- お使いのSDカードの取扱説明書をよくお読みください。

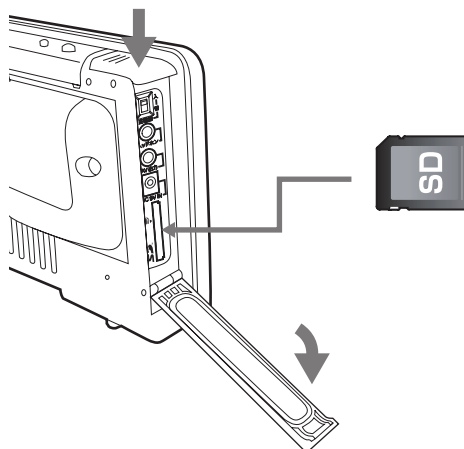
■本製品で再生できるファイル形式

ファイル形式	拡張子	仕様
JPEG（写真）	.jpg	最大画素数 64Mピクセル
MP3（音楽）	.mp3	ビットレート：32~192[kbps] サンプリング周波数：16~48[kHz]

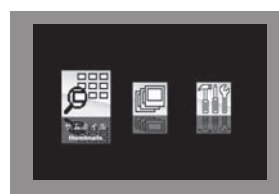
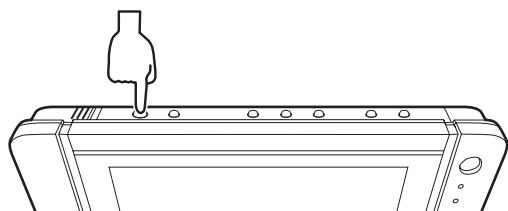
- データの作りかたによっては、ノイズが入ったり、正常に再生できない場合があります。
- サイズが大きいファイルは、再生に時間がかかることがあります。
- フォルダは5階層まで再生できます。（ファイルやフォルダ構成により変わる場合があります。）

写真を表示する

1. 防水モニターのジャックカバーをあげ、写真ファイルや音楽ファイルを記録したSDカードを挿入します。

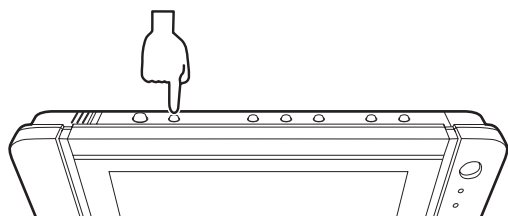


2. 防水モニターの電源を入れます。メインメニュー画面が表示されます。

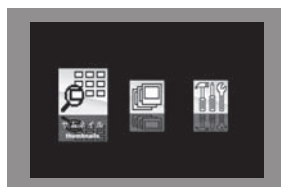
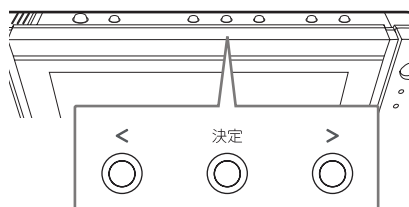


メインメニュー画面

ワイヤレスモードになっているときは、モード切替ボタンを押してSDモードに切り替えます。



3. <、>ボタンを押して、「サムネイル」または「スライドショー」を選択し、決定ボタンを押します。



→ 33ページ
サムネイルへ



→ 33ページ
スライドショーへ

使いかた SDモード (つづき)

サムネイル

SDカードに記録されている写真ファイルを、一覧表示します。

1. <、>ボタンを押して、カーソルを移動します。



右下の写真から>ボタンを押すと、次のページに移動します。
左上の写真から<ボタンを押すと、前のページに移動します。

2. 決定ボタンを押すと、カーソルが重なっている写真を全画面表示します。



全画面表示のときに<、>ボタンを押すと、前または次の写真を表示します。

3. もう一度決定ボタンを押すと、SDモードのメインメニュー画面に戻ります。

スライドショー

SDカードに記録されている写真ファイルを、順番に再生します。
音楽ファイルが記録されている場合は、音楽ファイルをBGMとして再生します。

1. SDカードに記録されている写真ファイルが、順番に繰り返し表示されます。



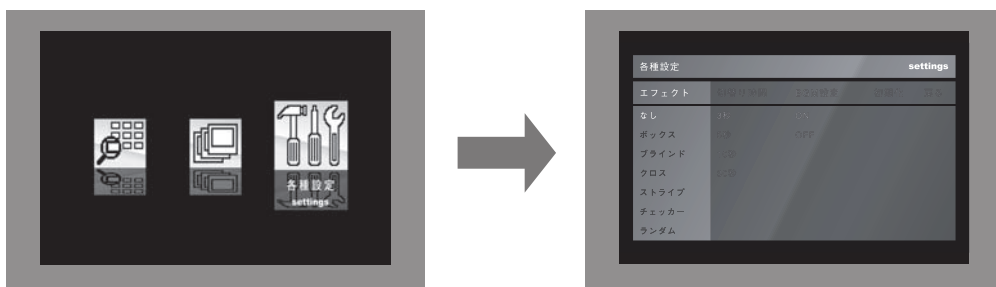
- 写真が切り替わる時のエフェクト(アニメーション)を変更することができます。 ⇒ 34ページ
- 写真が切り替わる時間間隔を変更することができます。 ⇒ 34ページ
- BGM再生をオフにすることができます。 ⇒ 35ページ

2. 決定ボタンを押すと、SDモードのメインメニュー画面に戻ります。

設定を変更する


スライドショーで、写真が切り替わるときのエフェクト（アニメーション）や、時間間隔、BGM再生のON/OFFを変更することができます。

1. SDモードのメインメニューで、<、>ボタンを押して「各種設定」を選択し、決定ボタンを押します。



2. <、>ボタンを押して、設定を変更したい項目を選択します。

3. 決定ボタンを押して、設定を変更します。
決定ボタンを押すたびに、設定が切り替わります。

設定項目	説明	設定値
エフェクト	スライドショーで写真が切り替わるときのアニメーションの種類を変更します。	なし（初期値）、ボックス、ブラインド、クロス、ストライプ、チェッカー、ランダム
切替り時間	スライドショーで写真が切り替わる時間間隔を変更します。	3秒（初期値）、5秒、10秒、30秒
BGM設定	BGM再生のON/OFFを切り替えます。SDカードにMP3ファイルが記録されている場合は、設定をONにするとスライドショーのBGMとして再生されます。	ON（初期値）、OFF
初期化	上記の設定をお買い上げ時の状態に戻します。決定ボタンを押すと、初期化の確認画面が表示されます。<、>ボタンで「はい」か「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。	

使いかた：設定を変更する

使いかた SDモード (つづき)

4. 「戻る」を選択して決定ボタンを押すと、SDモードのメインメニュー画面に戻ります。



5. ワイヤレスモードに切り替えるときは、モード切替ボタンを押してください。

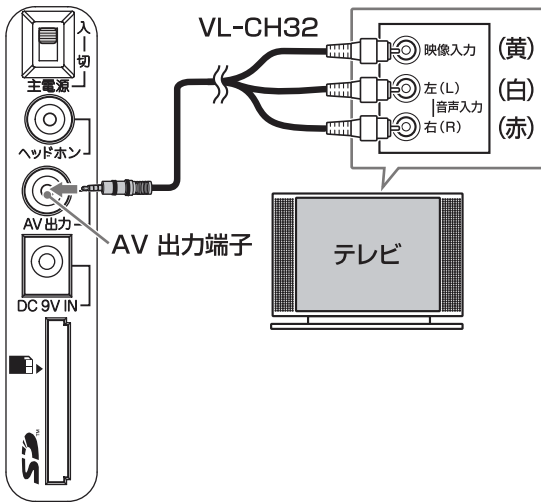
防水モニターと外部の機器を接続する

別売の専用ステレオビデオコード (VL-CH32) を使い、以下のように本機と他の機器をつないで使用することができます。接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
(市販品のコードを使用した場合、画像や音声が出ない場合があります。)

⚠注意

ジャックカバーを開いて、他の機器と接続した状態では、防水にはなりません。

テレビに接続する



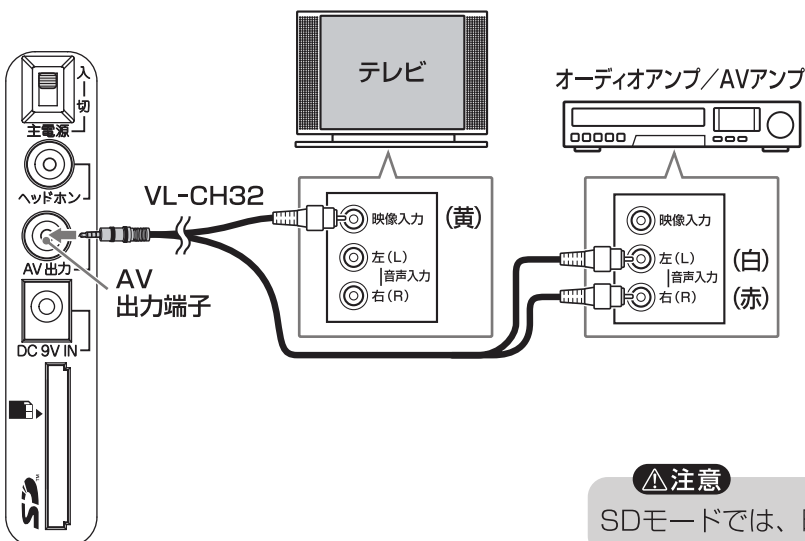
防水モニターで受信した映像や音声を、テレビで楽しむことができます。

防水モニターのAV出力端子とテレビの映像・音声入力端子を接続します。

⚠注意

- SDモードでは、映像・音声は出力されません。
- 防水モニターの設置のしかたにより、テレビに出力する映像に色むらができることがあります。その場合は、防水モニターをテレビから離してください。
- 接続するテレビの画面サイズ(16:9または4:3)に合わせて、送信機に接続した映像機器の設定をおこなってください。

AVアンプに接続する



防水モニターで受信した映像をテレビに、音声をAVアンプに出力して楽しむことができます。映像出力プラグをテレビの映像入力端子に、音声出力プラグをAVアンプの音声入力端子に接続します。

テレビとAVアンプが離れている場合は、テレビまたはAVアンプと専用ステレオビデオコードの間に市販の延長コードを使用してください。

⚠注意

SDモードでは、映像・音声は出力されません。

防水モニターと外部の機器を接続する(つづき)

ヘッドホンをつなぐ



市販のヘッドホンをヘッドホン端子に接続すると、スピーカーから音を出さずにヘッドホンで音声をお楽しみいただけます。

△注意

大きな音量で長時間お聞きになると、聴力に悪影響が出ることがありますのでご注意ください。

ステレオビデオコードの購入については付属の申し込みハガキをご利用になるか、直接「お客様サービス係」までご相談ください。

ステレオビデオコード(品番: VL-CH32) 1,260円(本体価格1,200円)
(2010年8月現在の価格です。変更することもあります。)

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2
ツインバード工業(株) 「お客様サービス係」

消費税法の改正により、消費税相当額を含んだ支払総額で価格を表示しています。
消費税は平成16年4月現在の税率に基づいて計算されています。

バッテリーパックの交換とリサイクルについて

- バッテリーパックは、充放電を繰り返すことで、容量が低下していきます。充放電可能な回数は周囲温度や使用時間などで変わります。
- 充電しても使用時間が短かったり、電源が入らないときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお求めください。バッテリーパックの購入については「お客様サービス係」までご相談ください。バッテリーパックは消耗品ですので、保証期間内でも無料修理の適用外となります。

バッテリーパック (品番: VW-BC38LI) 5,250円 (本体価格5,000円)
(2010年8月現在の価格です。変更することもあります。)

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2
ツインバード工業(株) 「お客様サービス係」

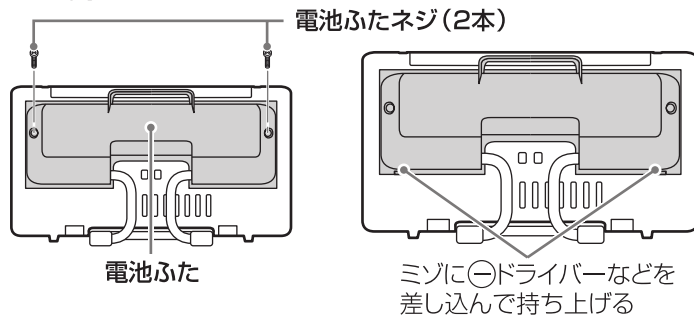
消費税法の改正により、消費税相当額を含んだ支払総額で価格を表示しています。
消費税は平成16年4月現在の税率に基づいて計算されています。

警告

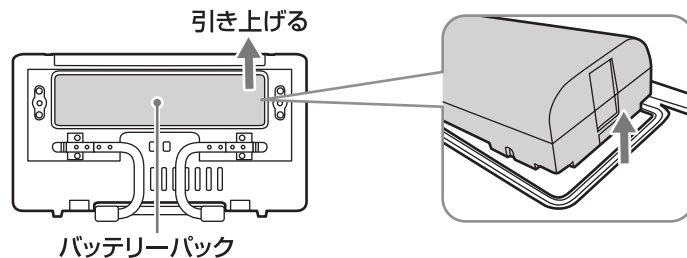
- バッテリーパックを交換する、または本製品を廃棄するとき以外は電池ふたを開けないでください。
- ぬれた手で電池ふたを開けないでください。
- 防水モニターがバッテリーパックで動作しなくなった(放電した)ことを確認してバッテリーパックを交換してください。

バッテリーパックの取りはずし手順

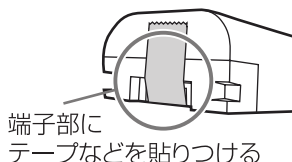
1. スタンドを上を広げた後、ネジ(2本)をはずして、防水モニターの電池ふたを開けます。



2. バッテリーパックを取り出します。



3. 取り出したバッテリーパック(リチウムイオン充電池)はリサイクル協力店へお持ちください。

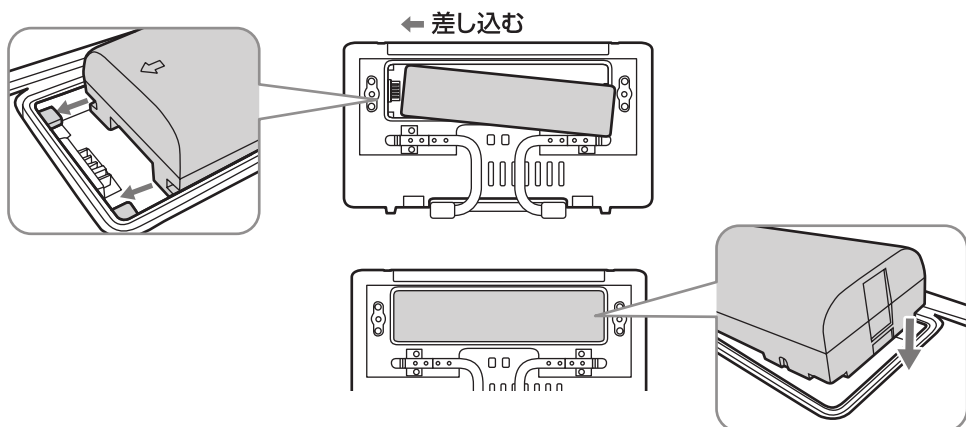


取りはずしたバッテリーパックは、お近くの販売店、または各地方自治体の指示(条例)にしたがってリサイクル処理してください。

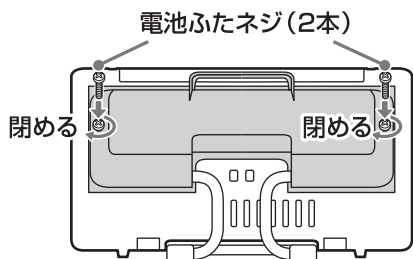
バッテリーパックの交換とリサイクルについて(つづき)

バッテリーパックの取付け手順

1. バッテリーパックを入れます。



2. 電池ふたを取付けて、
2ヶ所の電池ふたネジをしっかりと締めます。



! 電池ふた全体をしっかりと本体に押し付けて
電池ふたネジを締めてください。

▲注意

- 本体内部に水が入らないように、電池ふたは確実に取付け、電池ふたネジは2ヶ所ともしっかりと締めてください。
電池ふたが正しく取付けられていない状態では防水にはなりません。
- 本体が濡れている状態で電池ふたを開くと、本体内部に水が入る場合がありますので、必ず乾いた状態で行ってください。

こんなときは

ご使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前にまず次の点をお調べください。
また、接続している映像機器などの取扱説明書もよくお読みください。

映像

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
「適切な映像信号が 入力されていません。」 と表示される	映像機器の電源は入っていますか？	映像機器の電源を入れてください。	25 26
	映像機器を接続した入力端子を選択していますか？	入力切替ボタンで映像機器を接続した入力端子を選択してください。	
	映像端子は接続されていますか？	映像端子*1を接続してください。	
	映像機器と送信機の接続に間違いはありませんか？	映像機器と送信機の接続をご確認ください。	
	映像機器と送信機の接続にD端子を使っている場合、映像機器の出力解像度設定をご確認ください。	映像機器の出力解像度設定がD2～D5になっている場合、D1 (480i)に変更してください。出力解像度設定の確認と変更については、映像機器の取扱説明書を参照してください。	
	映像機器とテレビなどの接続にHDMI端子を使用していませんか？	テレビなどの同時使用を避けるか、テレビなどの接続に標準画質用映像端子をお使いください。	
	テレビの出力端子を送信機の入力端子に接続していますか？	テレビの出力端子には、機能に制約があり、映像信号が常時出力されない場合があります。テレビの取扱説明書を参照してください。	
「電波を受信できません。」 と表示される	送信機の電源は入っていますか？	送信機の電源を入れてください。	23 24 29 30
	送信機と防水モニター間の障害物を少なくしてください。または、送信機と防水モニターの距離を近づけてください。	送信機と防水モニターの間壁や電化製品、スチール棚などの障害物があると、電波が届かなくなることがあります。伝送レートを「標準」から「低」に変更することで改善される場合があります。	
	近くで無線LANなどの機器を使用していませんか？	本機の通信チャンネルを変更してください。また、無線LANをチャンネル変更したり、無線LAN機器の電源を切ることで改善することがあります。	
	防水モニターと送信機の電源を入れなおしてください。	静電気や電波などの影響を受けると、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。	
映像が乱れる ブロック状の ノイズが出る ときどき止まる	送信機と防水モニター間の障害物を少なくしてください。または、送信機と防水モニターの距離を近づけてください。	送信機と防水モニターの間壁や電化製品、スチール棚などの障害物があると、電波が届きにくくなる場合があります。伝送レートを「標準」から「低」に変更することで改善される場合があります。	23 24 29
	近くで無線LANなどの機器を使用していませんか？	本機の通信チャンネルを変更してください。また、無線LANをチャンネル変更したり、無線LAN機器の電源を切ることで改善されることがあります。	23 24 30
画面に何も 映らない	防水モニターのワイドボタンを長押ししませんでしたか？	「画面を消す」状態になっています。再度ワイドボタンを押して解除してください。	27
	動作ランプは点灯していますか？	電源を入れなおしてください。電源を入れなおしてもすぐに消えるときは、充電ランプが消えるまで充電を行ってから電源を入れてください。	12 13 21

*1：映像端子は本機の場合AV端子（黄）、S映像端子、D端子を指します。

こんなときは (つづき)

電 源

こんなときは	ここをご確認ください	処 置 方 法	参考 ページ
充電ができない 充電ランプが 点灯しない	防水モニターの主電源スイッチが「切」になっていませんか？	スイッチモニターの主電源スイッチを「入」にして充電を行ってください。	12 13
	防水モニターの電源が入っていませんか？	防水モニターの電源を切ってください。	
	防水モニターの充電端子と充電台の充電端子は接触していますか？	防水モニターのスタンドの角度によっては、充電端子が接触しない場合があります。防水モニターの角度を調節してください。	13
	バッテリーの寿命が考えられます。	新しいバッテリーパックをお求めください。	38
	送信機に使用しているACアダプターと交換して動作させてください。	交換後に防水モニターの電源が入った場合、ACアダプターの故障が考えられます。お客様サービス係までご相談ください。	
防水モニターの 電源が入らない	防水モニターの主電源スイッチが「切」の状態になっていませんか？	モニターの主電源スイッチを「入」状態にしてください。	12 13
	バッテリーパックは充電されていますか？	バッテリーパックの充電をしてから動作させるか、ACアダプターを接続した状態で防水モニターを動作させてください。	
防水モニターの 電源が自動的に すぐに切れる	防水モニターを長時間バッテリーにより動作させていませんか？	バッテリーパックの充電をしてから動作させるか、ACアダプターを接続した状態で防水モニターを動作させてください。	12 13
送信機の電源が 入らない	防水モニターを使用しているACアダプターと交換して動作させてください。	交換後に送信機の電源が入った場合、ACアダプターの故障が考えられます。お客様サービス係までご相談ください。	

防水プリセットリモコン

「防水プリセットリモコン取扱説明書」(別冊)の17ページを併せてご覧ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処 置 方 法	参考 ページ
リモコンで 操作できない 反応が鈍い	リモコンを防水モニターのリモコン受光部に向けていますか？	リモコンを防水モニターのリモコン受光部に向けて操作してください。	
	防水モニターのリモコン受光部に強い光が当たっていませんか？	防水モニターの向きを変えるなどして、受光部に強い光が当たらないようにしてください。	
	防水モニターに近づいてリモコン操作してください。	防水モニターとリモコンの間に障害物があると、リモコン信号が届かなくなることがあります。	

防水プリセットリモコン

「防水プリセットリモコン取扱説明書」(別冊)の17ページを併せてご覧ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
リモコンで操作できない 反応が鈍い	リモコンの電池が消耗していませんか？	リモコンの電池を新しいものに入れ替えてください。 付属の電池はお試用のため、寿命が短いことがあります。	20
	リモコンの電池の極性を間違っていないですか？	リモコンの電池を正しく入れなおしてください。	
リモコンで映像機器の操作ができない	送信機と防水モニターの通信は完了していますか？ (画面右上にインジケータが表示されます。)	送信機と防水モニターの通信が完了してから操作をしてください。	21 22
	リモコンを映像機器に直接向けて操作できますか？	操作できる → AVコントローラーが正しく接続されているか確認してください。また、AVコントローラーが映像機器のリモコン受光部に向いているか確認してください。	19
		操作できない → 映像機器のリモコン信号がプリセットまたは学習されているか確認してください。	
「防水プリセットリモコン取扱説明書」(別冊)の「こんなときは」(17ページ)をご確認ください。			
防水プリセットリモコンにプリセットまたは学習させることができない。	「防水プリセットリモコン取扱説明書」(別冊)をご覧ください。		

音 声

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
音が出ない	音量が「0」になっていませんか？	音量+ボタンで音量を調節してください。	27
	AV端子(赤・白)が映像機器と送信機に正しく接続されていますか？	送信機と映像機器のAV端子(赤・白)をAVケーブル(赤・白)で接続してください。	15 16
	防水モニターにヘッドホンが接続されていませんか？	防水モニターに接続されてるヘッドホンはずしてください。	37
	接続されている映像機器に映像端子*1はありますか？	CDプレーヤーやラジオなど、音声みの機器の場合、映像・音声は出力されません。必ず映像端子のある機器の映像端子と送信機の映像端子を接続して使用してください。	14
音声が悪い 雑音が入る 途切れやすい	防水モニターが送信機から遠すぎませんか？	防水モニターと送信機を近づけてください。	23 24
	送信機と防水モニターの間に多くの障害物がありますか？	送信機と防水モニターの間の障害物を取り除いてください。 また、伝送レートを「標準」から「低」に変更することで改善される場合もあります。	23 24 29
	近くで無線LANなどの電波を使った機器を使用していませんか？	無線LANまたは本機の通信チャンネルを変更してください。	23 24 30

*1：映像端子は本機の場合AV端子(黄)、S映像端子、D端子を指します。

こんなときは (つづき)

AVコントローラー

こんなときは	ここで確認ください	処 置 方 法	参考 ページ
AVコントローラーを接続した状態で防水モニターに向けてリモコンを操作しても映像機器を操作できない	AVコントローラーの発光部は映像機器のリモコン受光部を向いていますか？	AVコントローラーの発光部を映像機器のリモコン受光部に向けて操作してください。 映像機器のリモコン受光部の場所は、映像機器の取扱説明書を参照してください。	19
	送信機と防水モニターの通信は完了していますか？	送信機と防水モニターの通信が完了 (画面右上にインジケータが表示されます) してからリモコン操作を行ってください。	21

AV1出力

こんなときは	ここをご確認ください	処 置 方 法	参考 ページ
AV1入力端子に接続した映像機器をAV1出力端子に接続した機器で再生できない	ACアダプターは送信機とコンセントに接続されていますか？	ACアダプターを正しく接続してください。	18
	AV1入力端子に接続されている映像ケーブル* ² とAV1出力に接続されている映像ケーブルは一致していますか？	AV1入力端子とAV1出力端子に接続する映像ケーブルを同じ種類のものにしてください。	
	映像機器の出力端子と送信機のAV2またはAV3入力端子を接続していますか？	送信機のAV1出力端子は、AV1入力端子に入力された映像しか出力されません。	

*²：映像ケーブルは本機の場合AVケーブル（黄）、S映像ケーブル、D端子ケーブルを指します。

お手入れ

お手入れは、必ず電源スイッチを切って外部電源を抜いてからおこなってください。

- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸して、固くしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとるとききれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。
- 防水モニター・充電台の充電端子をとときどき乾いた綿棒などで掃除してください。

製品を廃棄するとき



この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。製品が古くなりお使いにならない場合はリチウムイオン電池を取り出して協力店にお持ちになり、リサイクルにご協力ください。

バッテリーパックの取り出し方法は、「バッテリーパックの交換とリサイクルについて」(38～39ページ)をご覧ください。

アフターサービス

1.保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。
(ただし、バッテリーパックは除く。)
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので保証書をよくお読みください。

3.修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

- **保証期間中の修理**
保証書の規定により無料修理します。製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。
- **保証期間がすぎている修理**
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

- この防水ワイヤレスモニターの補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。
- 性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。お問い合わせの際は、**接続している映像機器のメーカーや型番、接続しているケーブルをお伝えください。**

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色などを変更する場合があります。

お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-337-455

FAX (0256) 93-1077

お電話承り時間:平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お手入れ／製品を廃棄するとき／アフターサービス

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕 様

防水モニター

電 源	専用 A C ア ダ プ タ ー	入力：AC100～240V 50/60Hz 出力：DC9V 1.5A
	専用バッテリーパック(内蔵)	DC7.4V 4000mAh
消 費 電 力	動 作 時 間	約10W
	充 電 時 間	約7W
防 水 仕 様	JIS IPX7 (旧JIS保護等級7防浸形) 相当*1	
製 品 質 量 (約)	1.2kg (バッテリーパック含む)	
製 品 寸 法 (約)	幅260×奥行48×高さ150mm (スタンドを閉じた状態)	
液 晶 パ ネ ル	画 面 サ イ ズ	7V型ワイド (横152×縦91/対角178mm)
	画 素 数	1,152,000 (横800×3 (RGB)×縦480) *2
	表 示 素 子	カラーフィルター付TN透過型液晶パネル
	駆 動 方 式	TFTアクティブマトリックス駆動方式
	使 用 光 源	白色LED
ス ピ ー カ ー	φ40mm×2	
音 声 出 力	約0.3W+0.3W	
連 続 使 用 時 間	約3.5時間 (新品のバッテリーパックを、満充電で使用) *3	
充 電 時 間	最大8時間	
接 続 端 子	ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック
	A V 出 力 端 子	φ3.5mm4極ミニジャック *専用ステレオビデオコード (VL-CH32) のみ使用可
	外 部 電 源 端 子	DC9V JEITA 電圧区分3
動 作 温 度 範 囲	5℃～40℃ (充電時5℃～35℃)	
保 存 温 度 範 囲	-10℃～50℃	

送信機

電 源	専用 A C ア ダ プ タ ー	入力：AC100～240V 50/60Hz 出力：DC9V 1.5A	
	消 費 電 力	約9W	
防 水 仕 様	非防水構造		
製 品 質 量 (約)	575g		
製 品 寸 法 (約)	幅260×奥行140×高さ57mm		
接 続 入 力 端 子	外 部 電 源 端 子	DC9V JEITA 電圧区分3	
	AV1入力端子	D 1 端 子 D端子コネクタ	
	AV1～3 入力端子	S 映 像 端 子	4ピンミニDINジャック
		映 像 端 子	RCAピンジャック 黄
		音 声 端 子 (左)	RCAピンジャック 白
音 声 端 子 (右)	RCAピンジャック 赤		
接 続 出 力 端 子	AV1出力端子	D 1 端 子 D端子コネクタ	
	A V 1 出力端子	S 映 像 端 子	4ピンミニDINジャック
		映 像 端 子	RCAピンジャック 黄
		音 声 端 子 (左)	RCAピンジャック 白
		音 声 端 子 (右)	RCAピンジャック 赤
A V コ ン ト ロ ー ラ ー 端 子	φ3.5mmミニジャック×2 *付属AVコントローラー専用		
動 作 温 度 範 囲	5℃～40℃		
保 存 温 度 範 囲	-10℃～50℃		

無線部


準 拠 規 格	5GHz 帯小電力データ通信システム
変 調 方 式	OFDM方式
周 波 数 範 囲 (中 心 周 波 数)	5.180GHz~5.240GHz (Ch 36,40,44,48)

付属品

充 電 台	防 水 仕 様	非防水構造	
	製 品 質 量(約)	510g	
	製 品 寸 法(約)	幅200×奥行120×高さ155mm	
	外 部 電 源 端 子	DC9V JEITA 電圧区分3	
防 水 プリ セ ッ ト リ モ コ ン	防 水 仕 様	JIS IPX7 (旧JIS保護等級7防浸形) 相当*1	
	使 用 電 源	CR2032 リチウム電池×1ヶ	
	ボ タ ン	防水モニター操作ボタン	7ヶ
		機器選択ボタン	3ヶ
		学習可能ボタン数	48ヶ×3
	製 品 質 量(約)	75g (電池含む)	
	製 品 寸 法(約)	幅57×奥行16×高さ195mm	
動 作 温 度 範 囲	5℃~40℃ (充電時5℃~35℃)		
保 存 温 度 範 囲	-10℃~50℃		
A C ア ダ プ タ ー	防 水 仕 様	非防水構造	
	入 力	AC100~240V 50/60Hz	
	出 力	DC9V 1.5A	
	コ ー ド 長	約1.8m	
AVコントローラー(約1.5m)…2、リチウム電池(CR2032)…1、AVケーブル(約1.8m)…2、S映像ケーブル(約1.5m)…2、本体取扱説明書(保証書付)、防水プリセットリモコン取扱説明書、かんたんガイド、申し込みハガキ			

- *1 IPX7 定められた条件(1m、30分)で常温の水道水中に没しても内部に水が入らないもの。
 *2 液晶パネルは非常に高度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
 あらかじめご了承ください。
 *3 使用時間は周囲温度25℃で連続動作させた場合の目安です。使用状況(音量、明るさ等)や周囲温度により変動します。バッテリーパックは放電と充電を繰り返すと使用時間が短くなります。

この製品は、日本国内用に設計・販売されています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や製品販売などのアフターサービスも対象外となります。

 <p>愛情点検</p>	<p>★長年ご使用の防水ワイヤレスモニターの点検を！</p>	
	<p>ご使用の際このようなことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターやプラグが異常に熱くなる。 ● コードを動かすと充電ランプが消えるときがある。 ● こげくさい臭いがする。 ● ACアダプターに深いキズや変形がある。 ● その他の異常・故障がある。 	<p>ご使用中 止</p> <p>故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。</p>

こんなときは (つづき)

AVコントローラー

こんなときは	ここで確認ください	処 置 方 法	参考ページ
AVコントローラーを接続した状態で防水モニターに向けてリモコンを操作しても映像機器を操作できない	AVコントローラーの発光部は映像機器のリモコン受光部を向いていますか？	AVコントローラーの発光部を映像機器のリモコン受光部に向けて操作してください。 映像機器のリモコン受光部の場所は、映像機器の取扱説明書を参照してください。	19
	送信機と防水モニターの通信は完了していますか？	送信機と防水モニターの通信が完了(画面右上にインジケータが表示されます)してからリモコン操作を行ってください。	21

AV1出力

こんなときは	ここをご確認ください	処 置 方 法	参考ページ
AV1入力端子に接続した映像機器をAV1出力端子に接続した機器で再生できない	ACアダプターは送信機とコンセントに接続されていますか？	ACアダプターを正しく接続してください。	18
	AV1入力端子に接続されている映像ケーブル* ² とAV1出力に接続されている映像ケーブルは一致していますか？	AV1入力端子とAV1出力端子に接続する映像ケーブルを同じ種類のものにしてください。	
	映像機器の出力端子と送信機のAV2またはAV3入力端子を接続していますか？	送信機のAV1出力端子は、AV1入力端子に入力された映像しか出力されません。	

*²：映像ケーブルは本機の場合AVケーブル（黄）、S映像ケーブル、D端子ケーブルを指します。